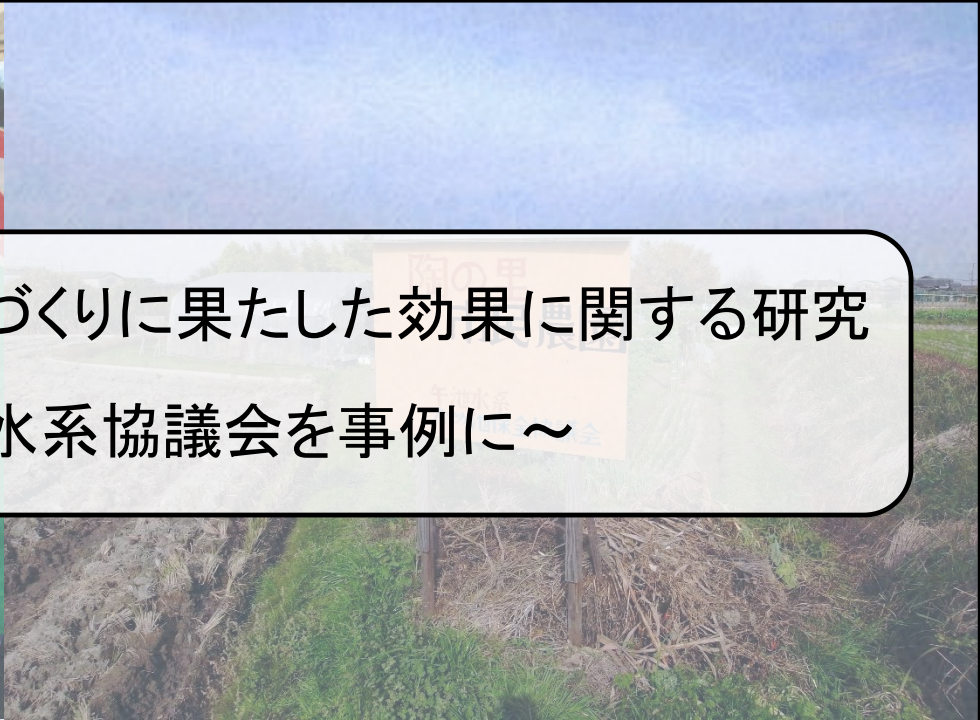




都市農村交流活動が地域まちづくりに果たした効果に関する研究  
～堺市中区陶の里水系協議会を事例に～



緑地計画学  
松野 智仁

# 第1章 研究の背景及び目的

## 研究背景

近年、都市近郊農村部は、住民の高齢化、農家の後継者不足により、農村地域の自然環境や歴史・文化、農景観の維持が課題となる中、地域活性化を図るための手段として、都市農村交流活動が注目されている。

## 研究目的

本研究では、都市近郊農村部で都市農村交流活動を実践している地域まちづくり協議会を対象に、交流活動が地域まちづくりに果たした効果を探った。

## 論文構成

第1章 研究の背景及び目的

第2章 協議会の活動経緯と都市農村交流活動の実態

第3章 都市農村交流活動が担い手と参加者に与えた効果

第4章 都市農村交流活動が地域まちづくり果たした効果

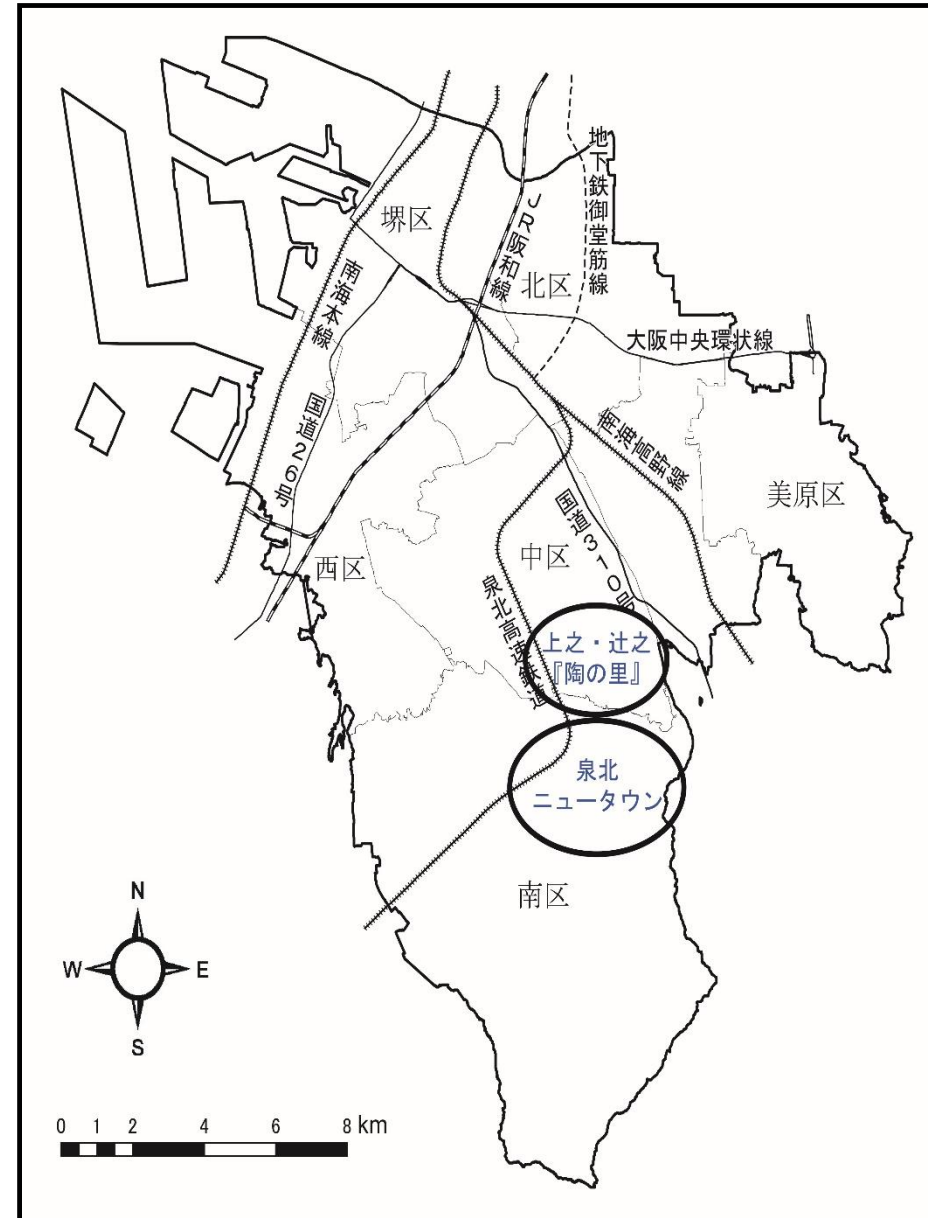


# 調査対象の概要

## 陶の里水系協議会

(平成14年度～現在)

- ・堺市中区上之・辻之地区の『陶の里』を拠点に活動
- ・地区内には午池や辰巳池などため池が点在



## 第2章 陶の里水系協議会の活動経緯

	活動経緯		組織の状態
	まちづくり活動	都市農村交流活動	組織の内部形態
平成12年度	午池周辺整備推進協議会の発足 まちづくりの学習		午池周辺整備推進協議会
平成13年度	まちづくり講演会 計2回 第1回 まちづくりセミナー 計5回		
平成14年度	午池水系ため池保全協議会の発足		午池水系ため池保全協議会 〔・事務局 ・全体会議〕
平成15年度	水路ウォッチング 地元住民を交えた「風景調査」実施		
平成16年度	陶の里便り創刊号～第4号発行 第1回陶の里めぐり	他地域との交流活動の検討 第1回農産物即売会	午池水系ため池保全協議会 〔・事務局 ・全体会議〕 実践活動グループ 〔・情報発信グループ ・はなとみどりの里づくりグループ ・農業ファン倶楽部〕
平成17年度	陶の里便り第5号～第8号発行 第2、3回陶の里めぐり	朝市の事例見学会 第2回農産物即売会	
平成18年度	陶の里便り第9号～第12号発行	第1回ジャガイモオーナー制度 第3回農産物即売会	
平成19年度	陶の里便り第13号～第16号発行 第4回陶の里めぐり 陶の里づくり構想決定	第2回ジャガイモオーナー制度 第4回農産物即売会 陶の里市民農園の開園	
平成20年度	陶の里便り第17号～第20号発行 陶の里水系協議会に改称	第3回ジャガイモオーナー制度 第5回農産物即売会	
平成21年度	陶の里便り第21号～第23号発行	第4回ジャガイモオーナー制度 第6回農産物即売会	

## 第2章 陶の里水系協議会の活動経緯

	活動経緯		組織の状態
	まちづくり活動	都市農村交流活動	組織の内部形態
平成12年度	午池周辺整備推進協議会の発足 まちづくりの学習		午池周辺整備推進協議会
平成13年度	まちづくり講演会 計2回 第1回 まちづくりセミナー 計5回		
平成14年度	午池水系ため池保全協議会の発足		午池水系ため池保全協議会 〔 <u>・事務局</u> <u>・全体会議</u> 〕
平成15年度	水路ウォッチング 地元住民を交えた「風景調査」実施		
平成16年度	陶の里便り創刊号～第4号発行 第1回陶の里めぐり	他地域との交流活動の検討 <u>第1回農産物即売会</u>	午池水系ため池保全協議会 〔 <u>・事務局</u> <u>・全体会議</u> 〕 実践活動グループ 〔 <u>・情報発信グループ</u> <u>・はなとみどりの里づくりグループ</u> <u>・農業ファン倶楽部</u> 〕
平成17年度	陶の里便り第5号～第8号発行 第2、3回陶の里めぐり	朝市の事例見学会 第2回農産物即売会	
平成18年度	陶の里便り第9号～第12号発行	<u>第1回ジャガイモオーナー制度</u> 第3回農産物即売会	
平成19年度	陶の里便り第13号～第16号発行 第4回陶の里めぐり 陶の里づくり構想決定	第2回ジャガイモオーナー制度 第4回農産物即売会 <u>陶の里市民農園の開園</u>	
平成20年度	陶の里便り第17号～第20号発行 陶の里水系協議会に改称	第3回ジャガイモオーナー制度 第5回農産物即売会	
平成21年度	陶の里便り第21号～第23号発行	第4回ジャガイモオーナー制度 第6回農産物即売会	



# 都市農村交流活動の実態 ①

## 農産物即売会

開催期間	平成16年度～平成21年度 11月/各年	
開催場所	辻之自治会管理グラウンド	
出店者	地元農家 約30名	
参加人数	農村側	約100名
	都市側	約400名
収入	売り上げ	約200万円
	収益	約30万円
販売品目	玄米・白米 休耕田を利用して栽培したモチ米 地場産の野菜 30品目 花 10品目 寄植え 葉牡丹 等	



## 都市農村交流活動の実態 ②

### ジャガイモオーナー制度

開催期間	平成18年度～平成21年度 毎年5月/各年	
開催場所	車庭、太田之内の約30aの休耕田	
オーナー数	農村側	40名
	都市側	80名
販売価格	1株100円	
オーナー株数	約3,000株/年	



### 陶の里市民農園

法的根拠	特定農地貸付法
開設年代	平成19年度
総面積	約13a
区画数	30区画
1区画あたりの面積	25m <sup>2</sup>
農園貸付状況	農村側 10名 都市側 20名
利用料金	12000円/年 (1000円/月)





# 第3章 アンケート調査方法

## 調査方法

対象 活動の担い手(陶の里の農村住民)  
活動の参加者(周辺地域の都市住民)

配布方法 担い手: 事務局会議にて配布  
参加者: イベントでの直接配布  
参加者宛に郵送

・回収方法 郵送回収方式

・平成21年10月～11月に配布

	配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)
担い手	150	68	45.3
参加者	338	124	36.7

## 調査内容

□活動の担い手

- ・活動への参加経験・参加理由
- ・活動を通じたコミュニティとの関係性
- ・所有農地と今後の農地利用意向

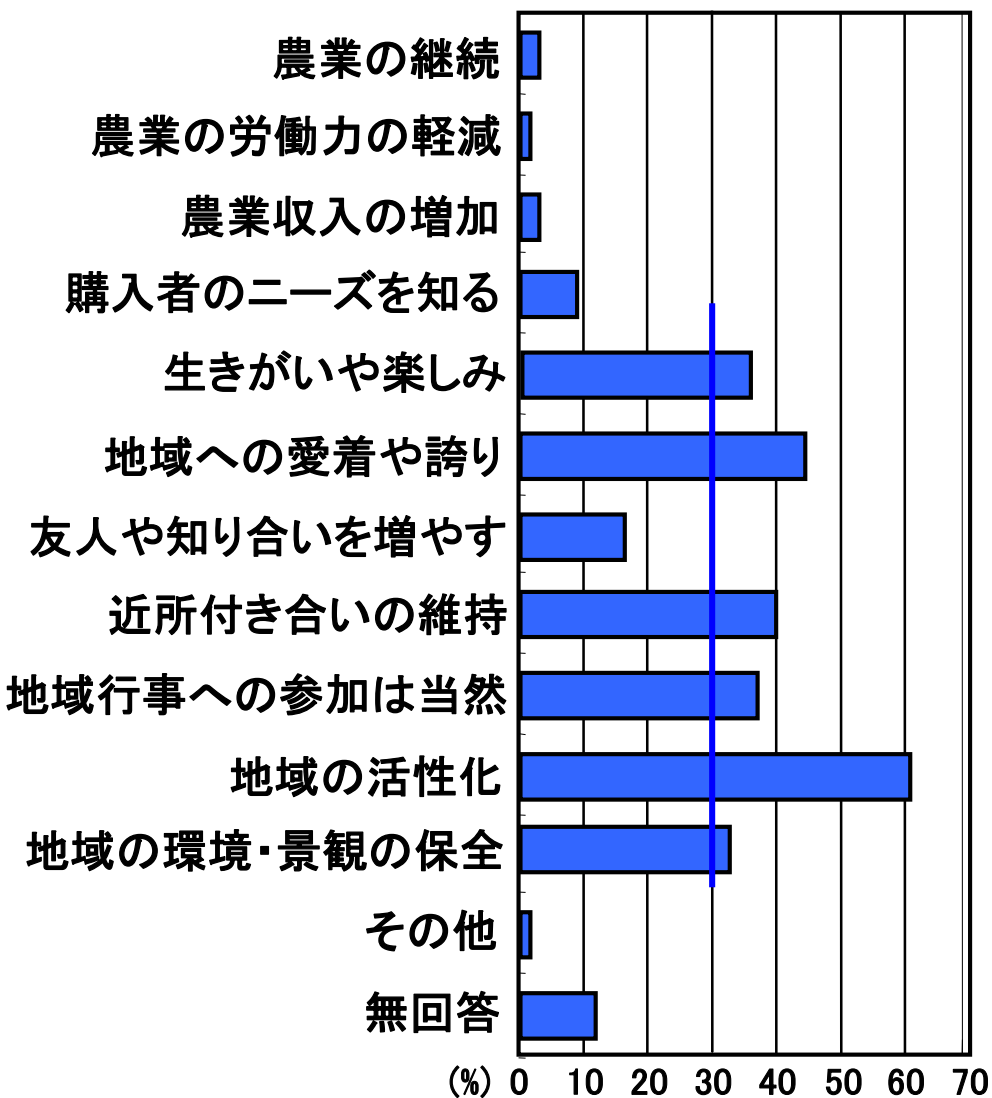
□活動の参加者

- ・活動への参加経験・参加理由
- ・活動を通じた農業に対する意識変化
- ・活動を通じた地域との関連性

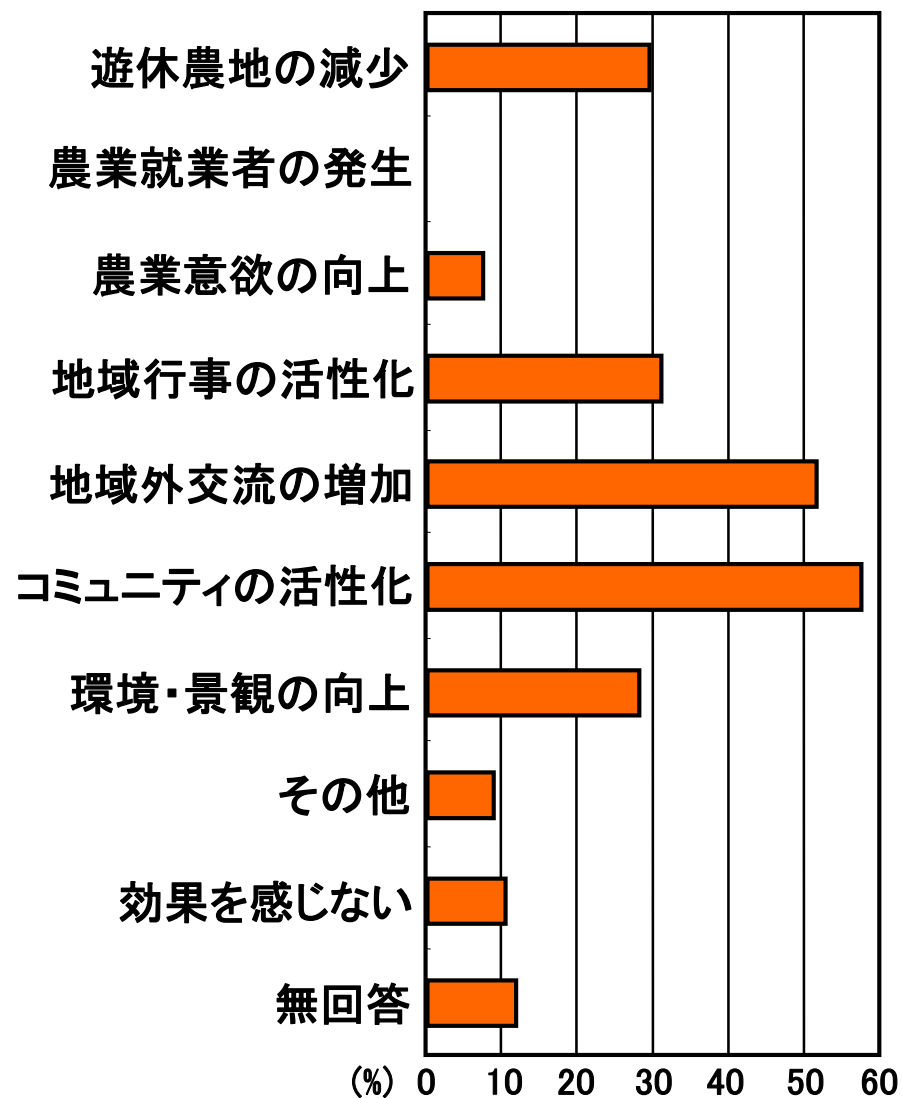


# 担い手(農村側)

## 交流活動への参加理由

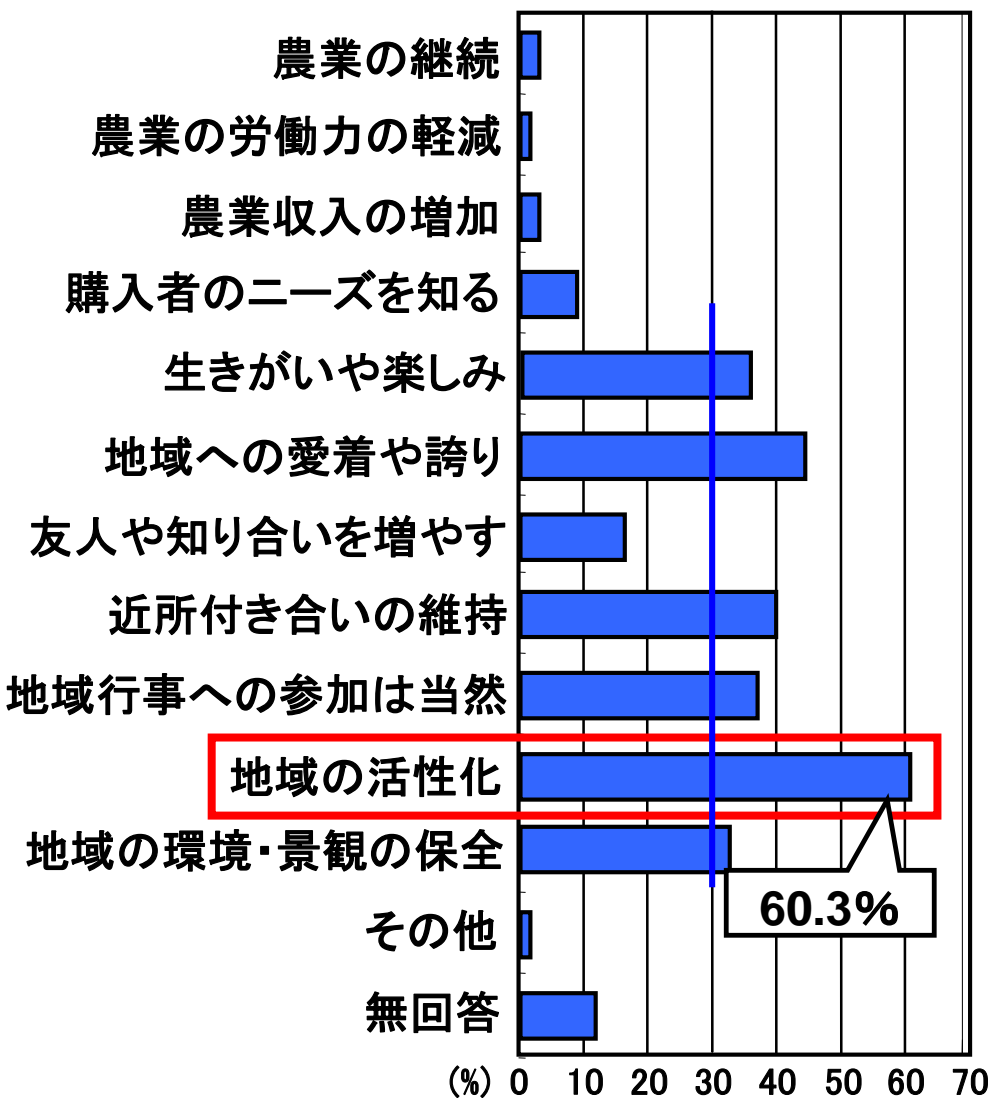


## 交流活動が地区に与えた効果

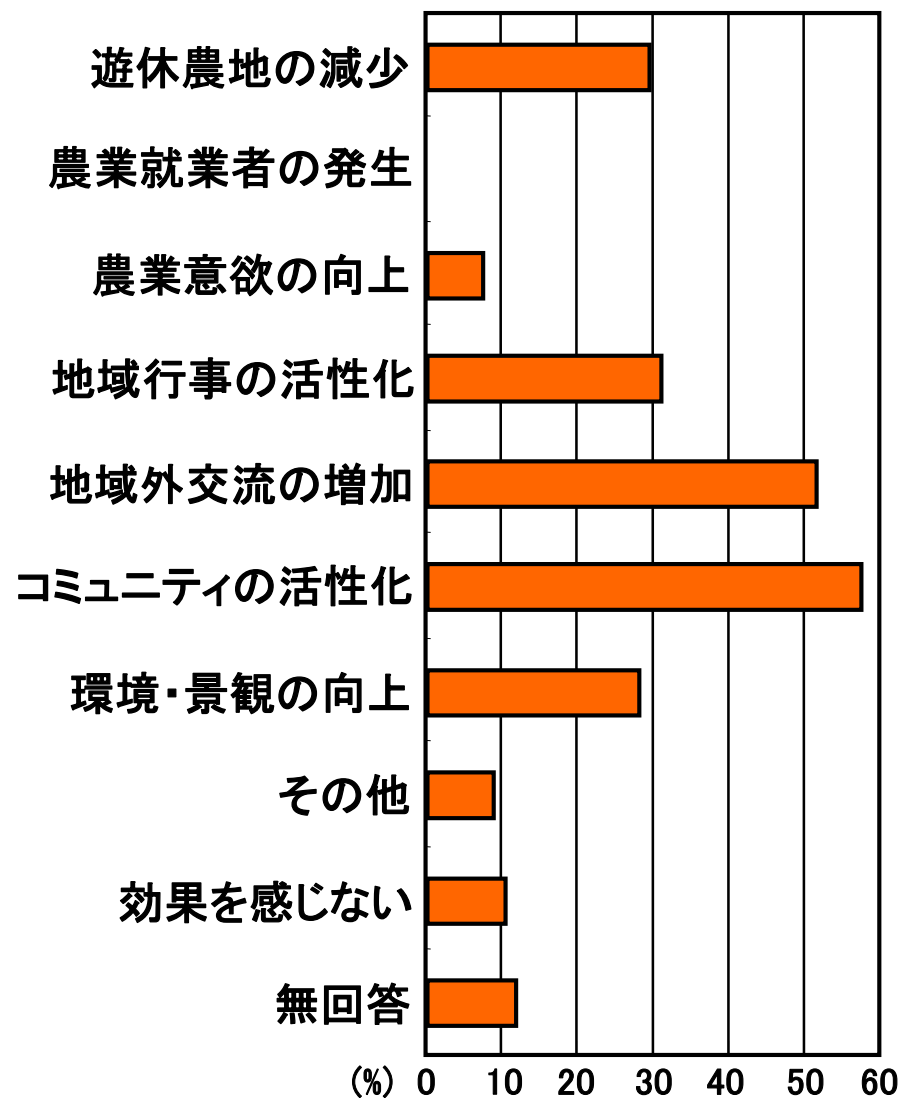


# 担い手(農村側)

## 交流活動への参加理由

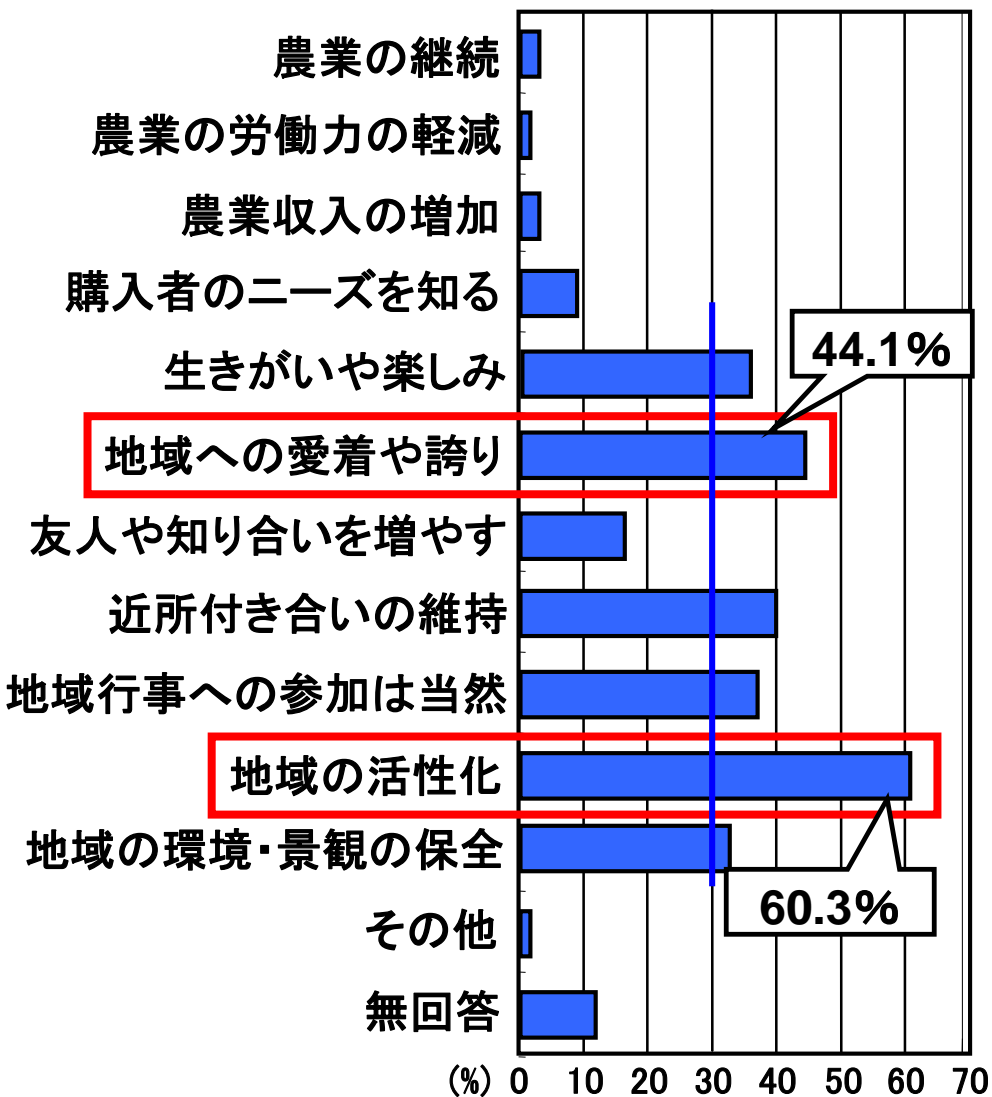


## 交流活動が地区に与えた効果

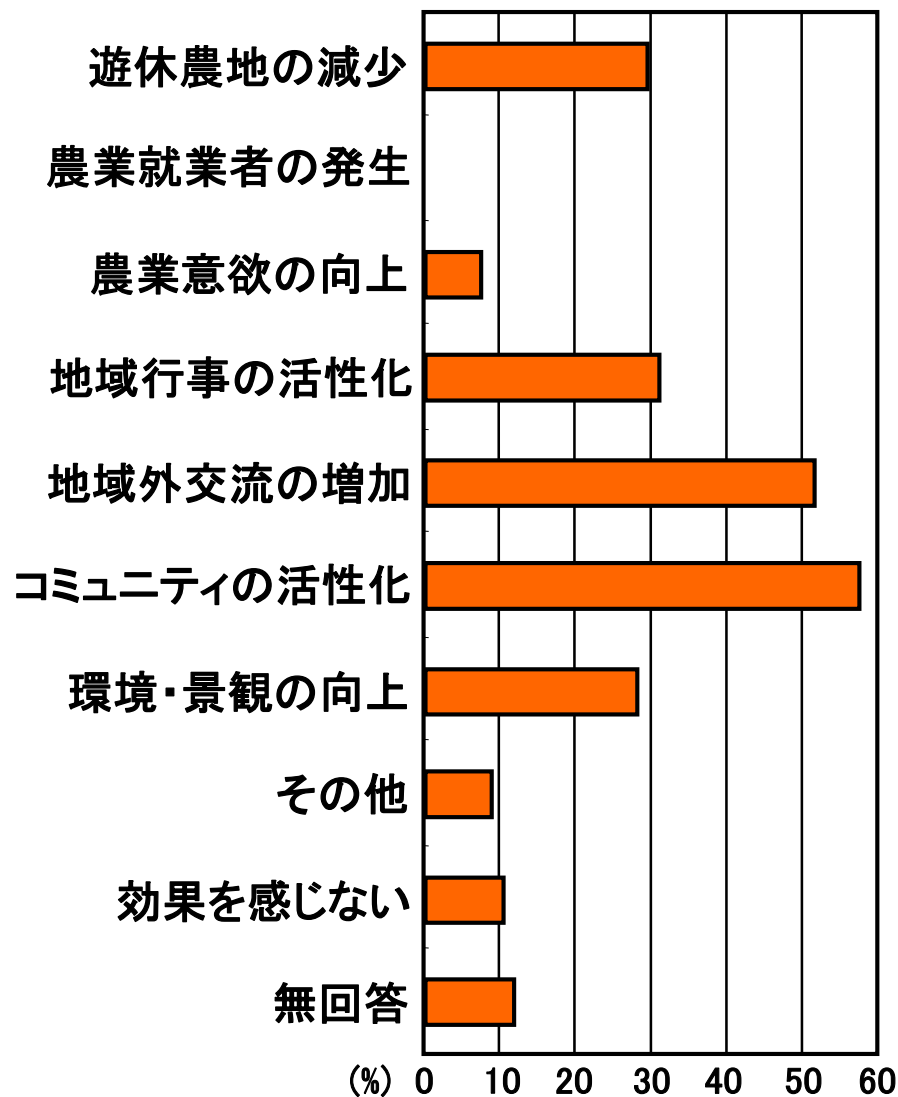


# 担い手(農村側)

## 交流活動への参加理由



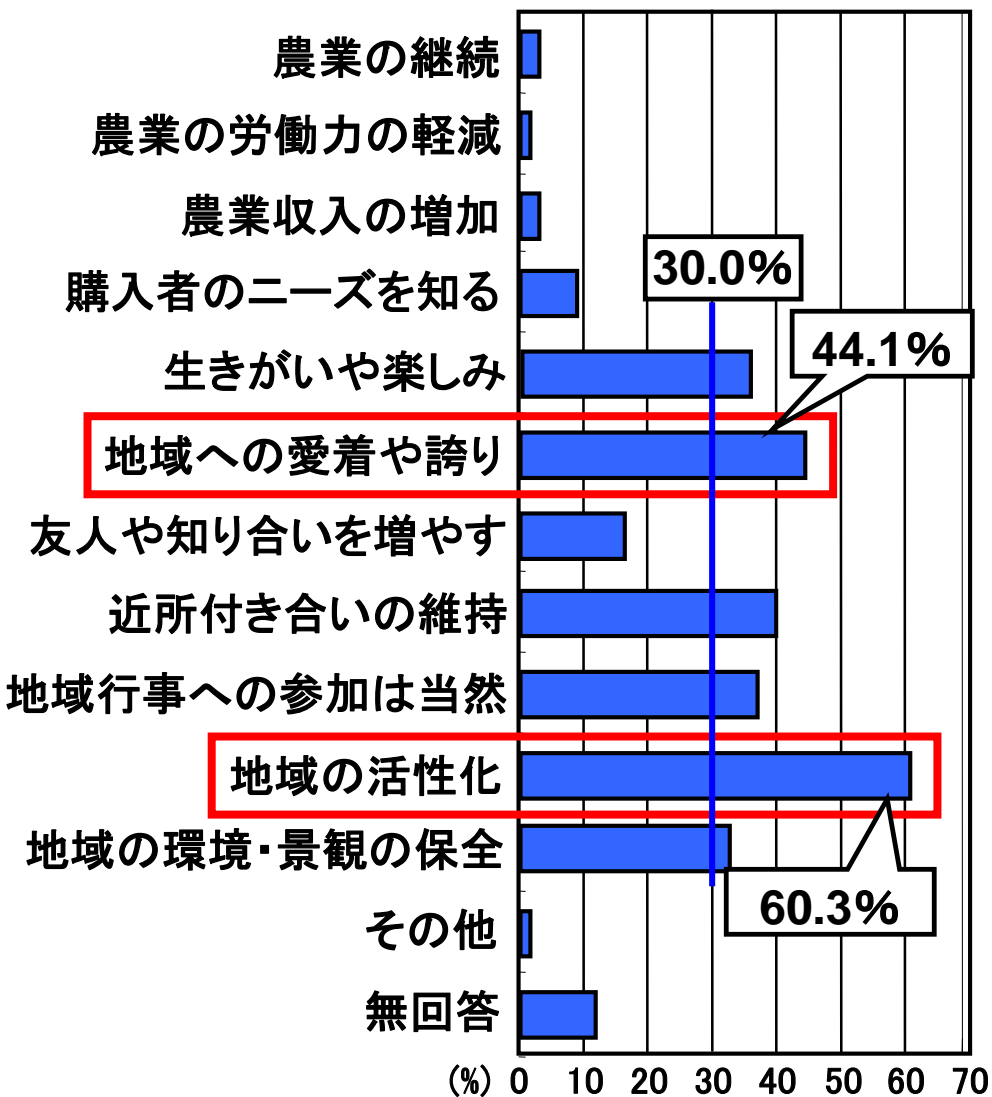
## 交流活動が地区に与えた効果



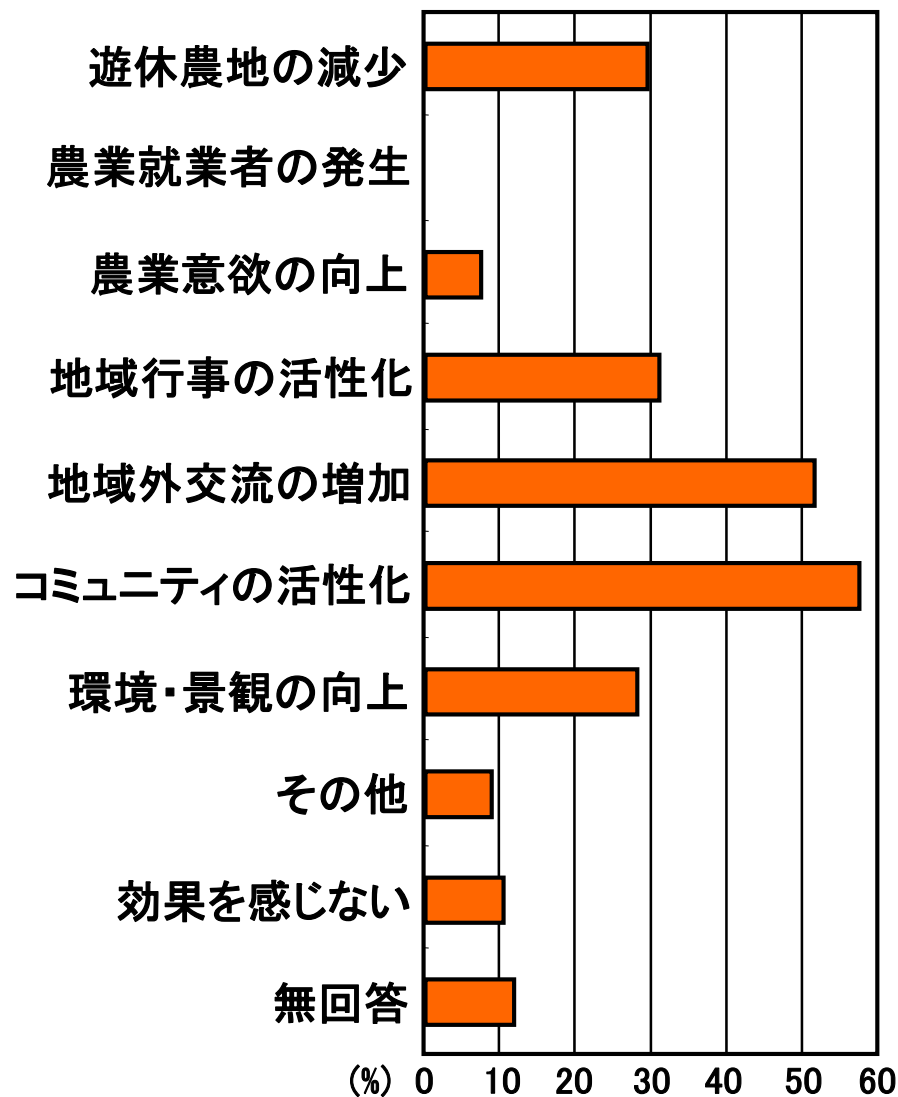


# 担い手(農村側)

## 交流活動への参加理由

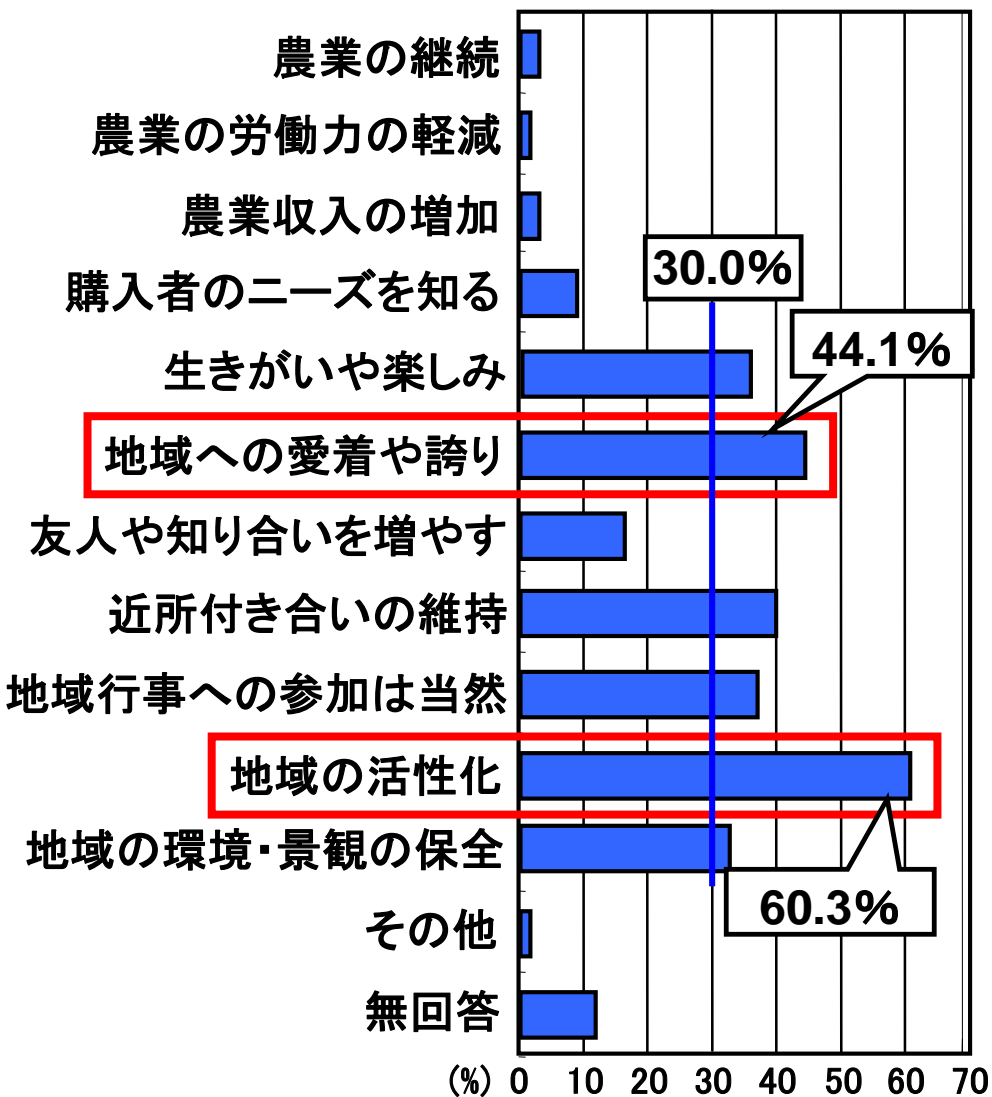


## 交流活動が地区に与えた効果

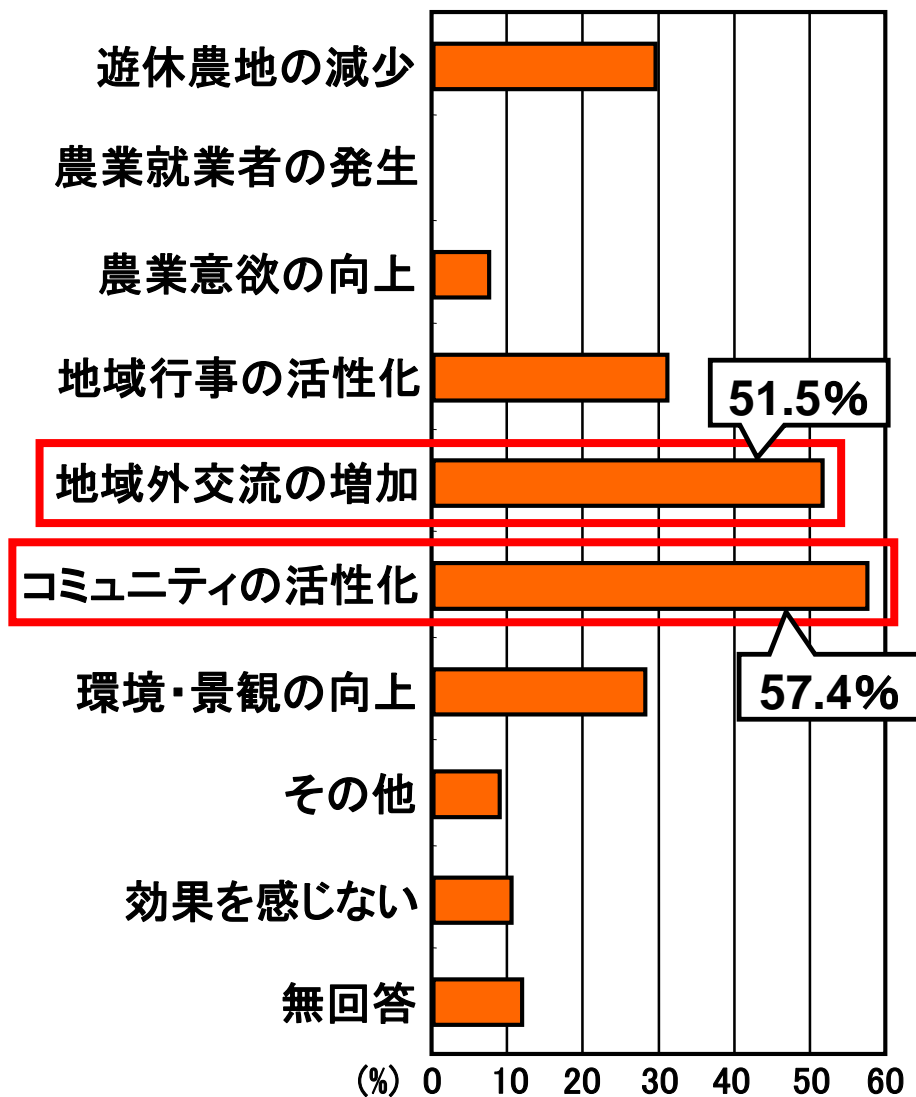


# 担い手(農村側)

## 交流活動への参加理由

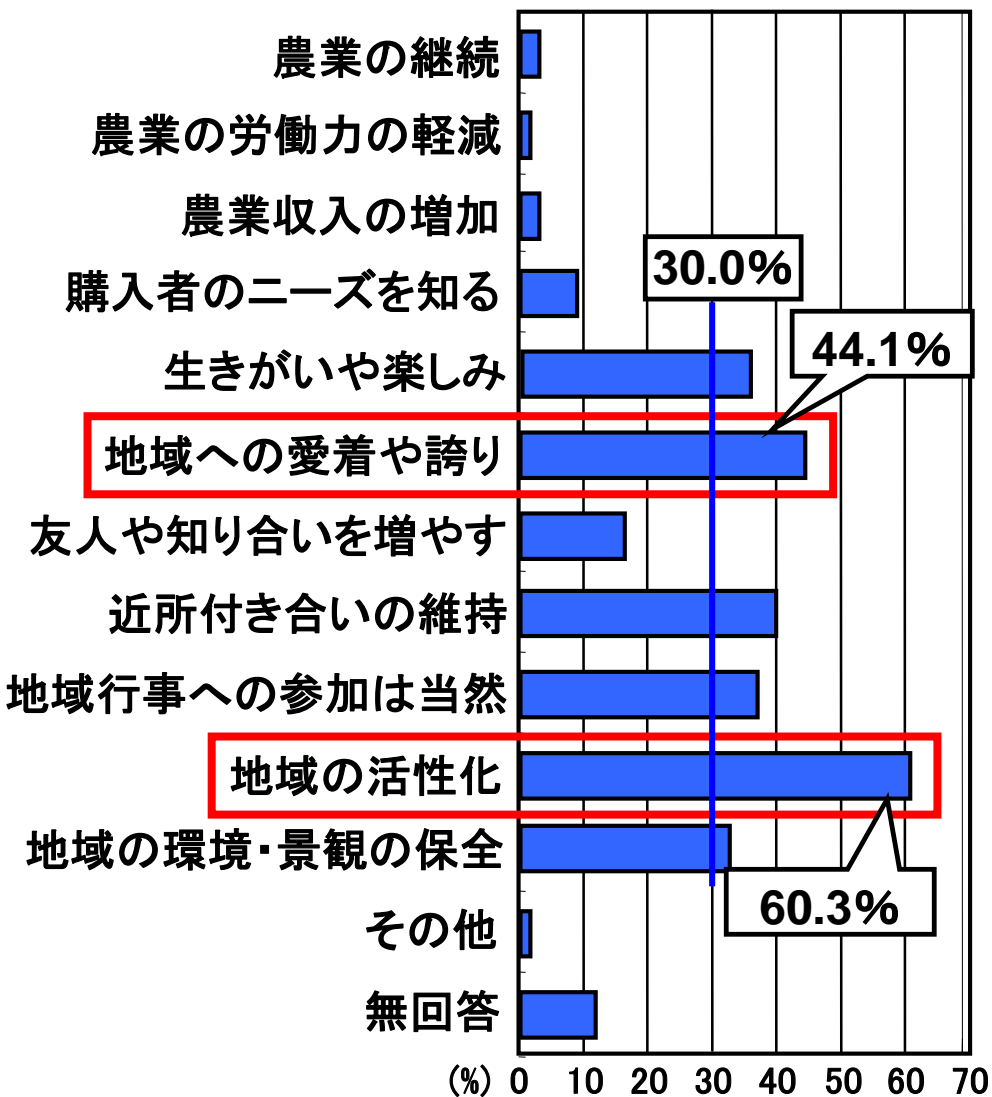


## 交流活動が地区に与えた効果

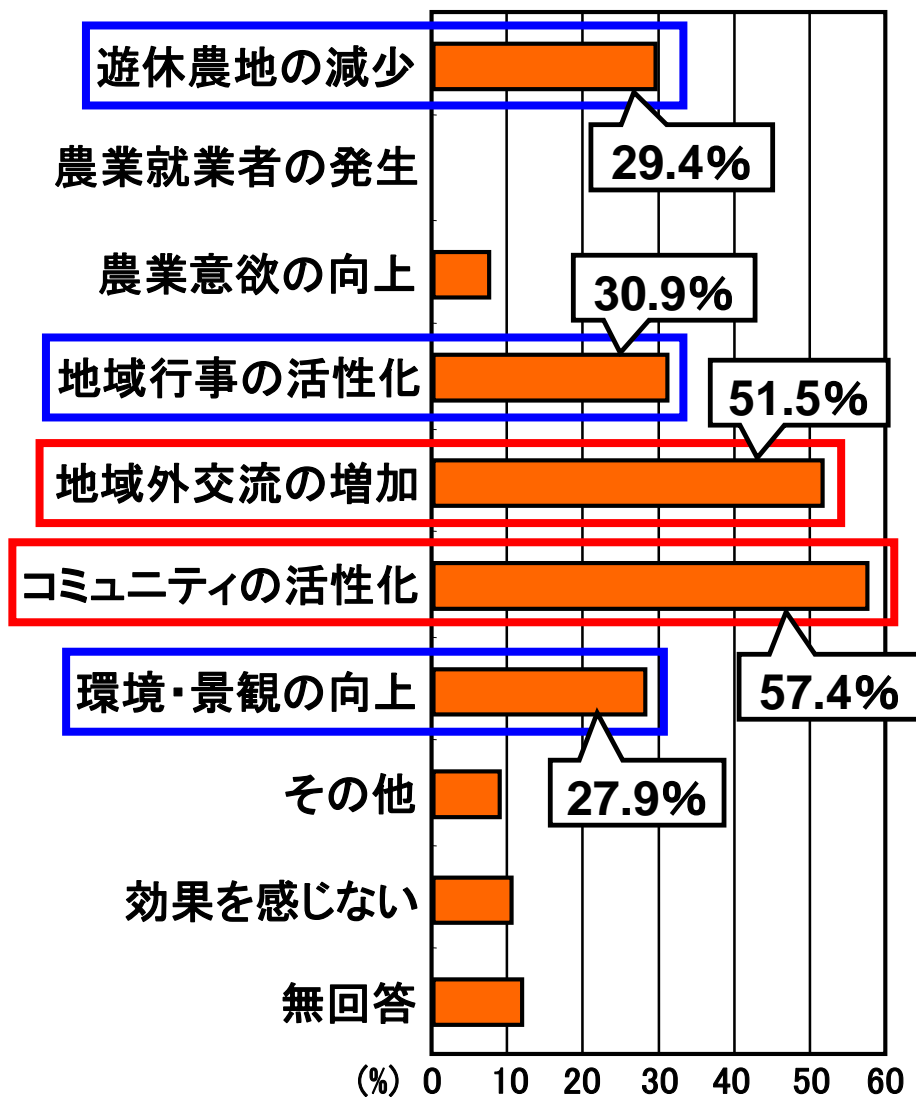


# 担い手(農村側)

## 交流活動への参加理由



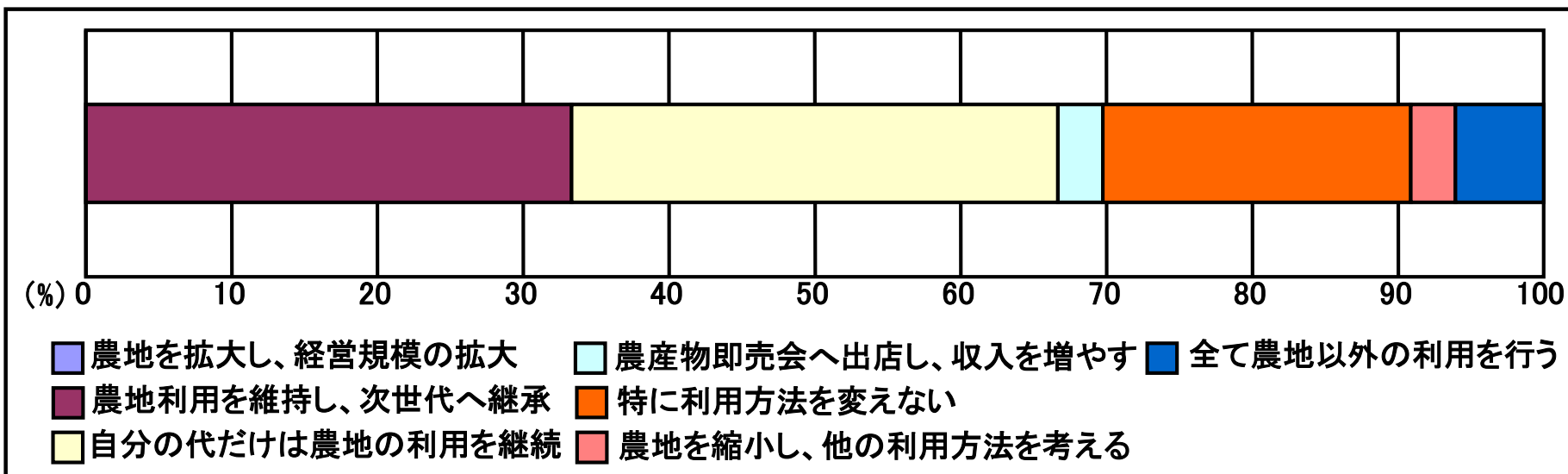
## 交流活動が地区に与えた効果



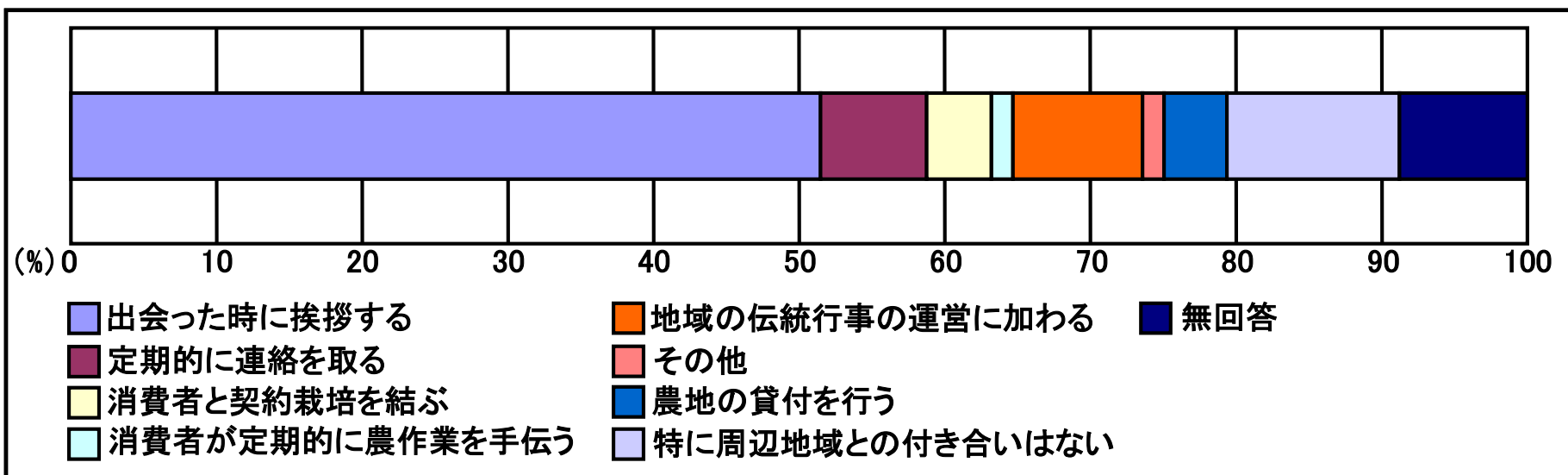


# 担い手(農村側)

## 今後の農地利用形態の意向

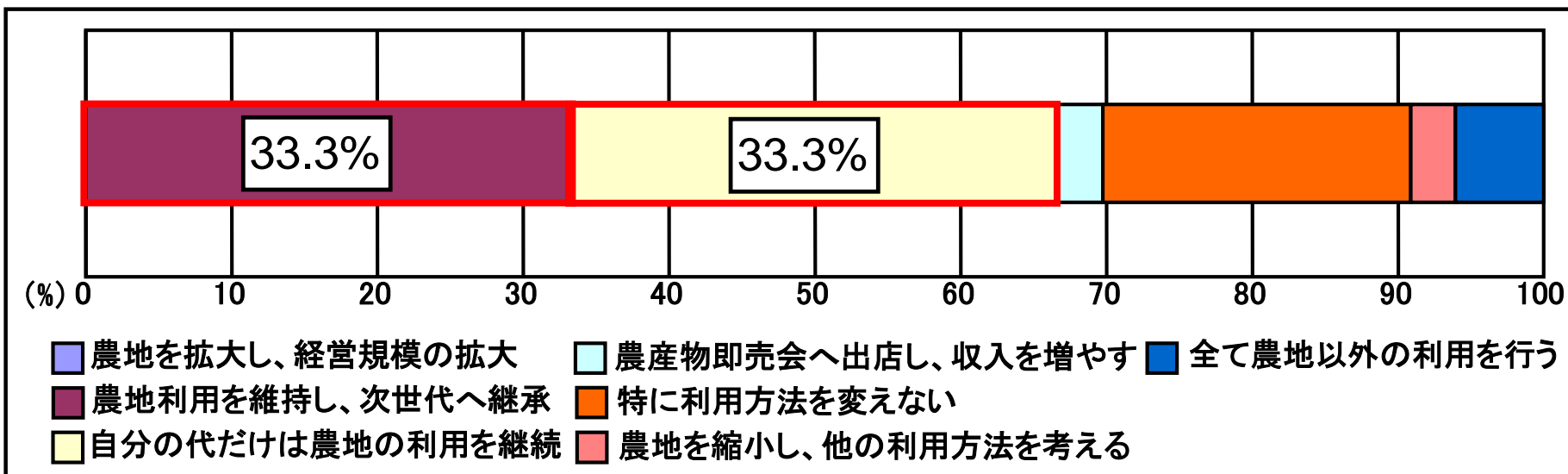


## 周辺地域との付き合いの変化

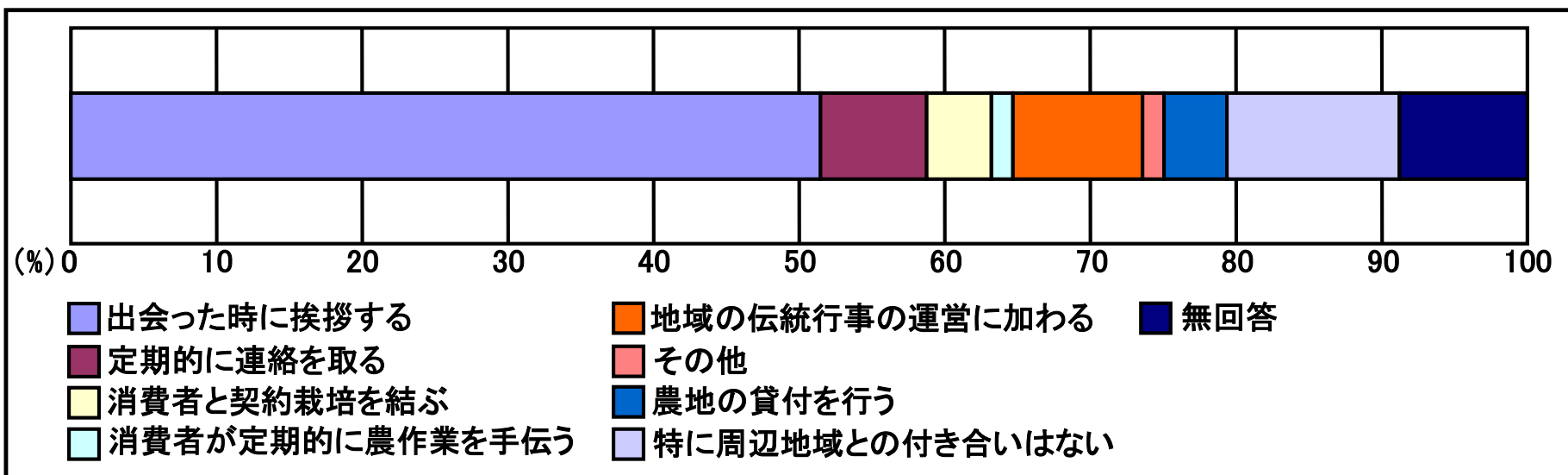


# 担い手(農村側)

## 今後の農地利用形態の意向

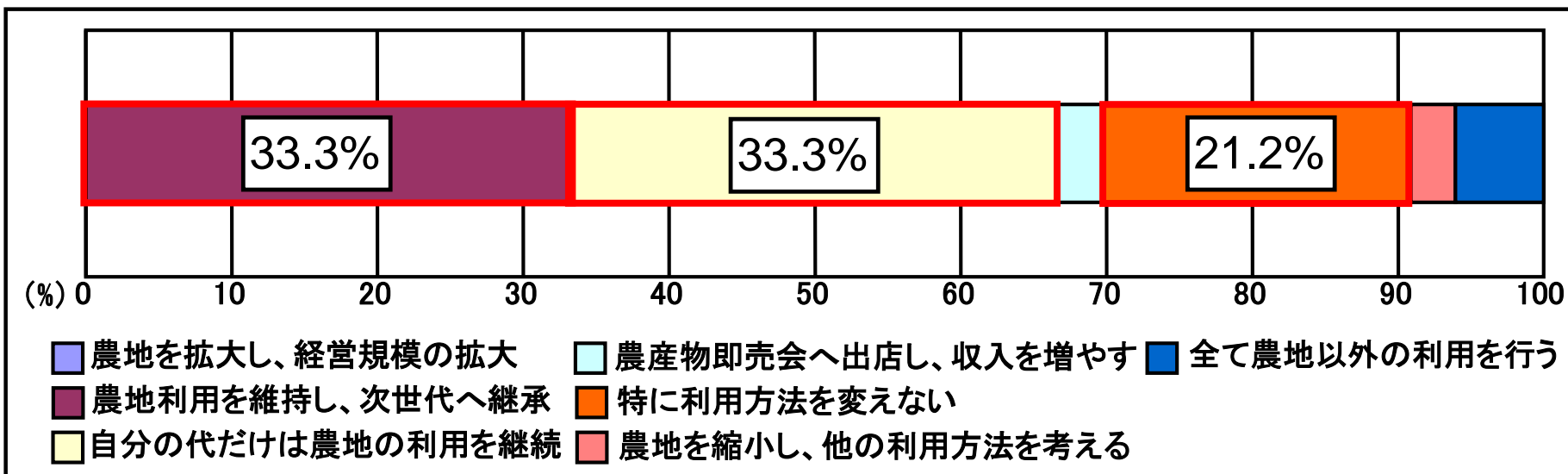


## 周辺地域との付き合いの変化

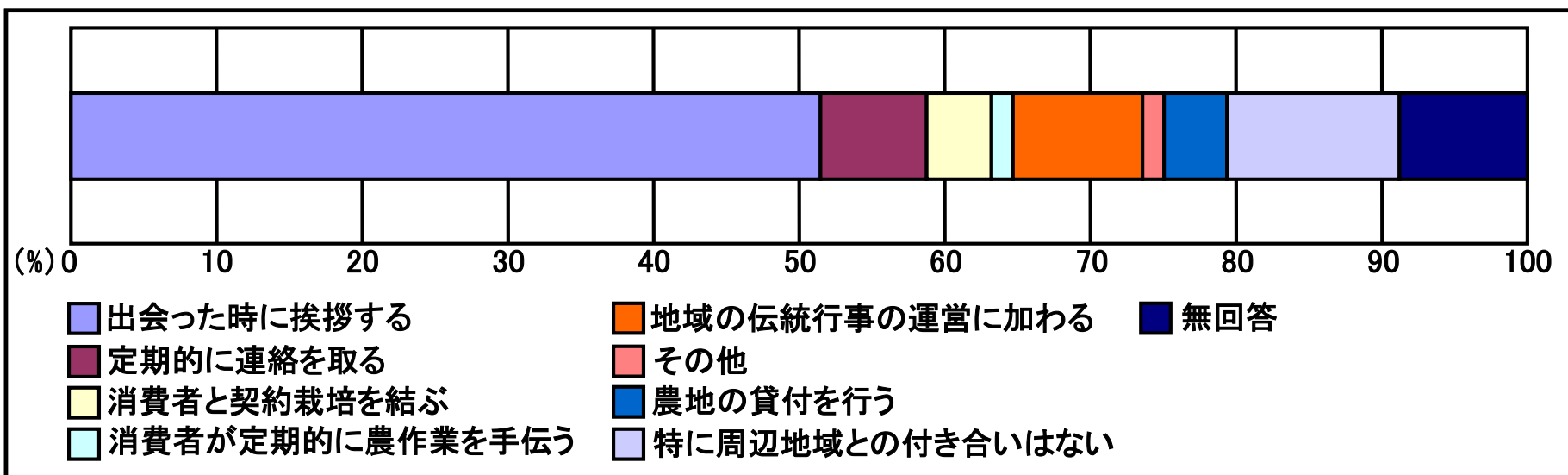


# 担い手(農村側)

## 今後の農地利用形態の意向



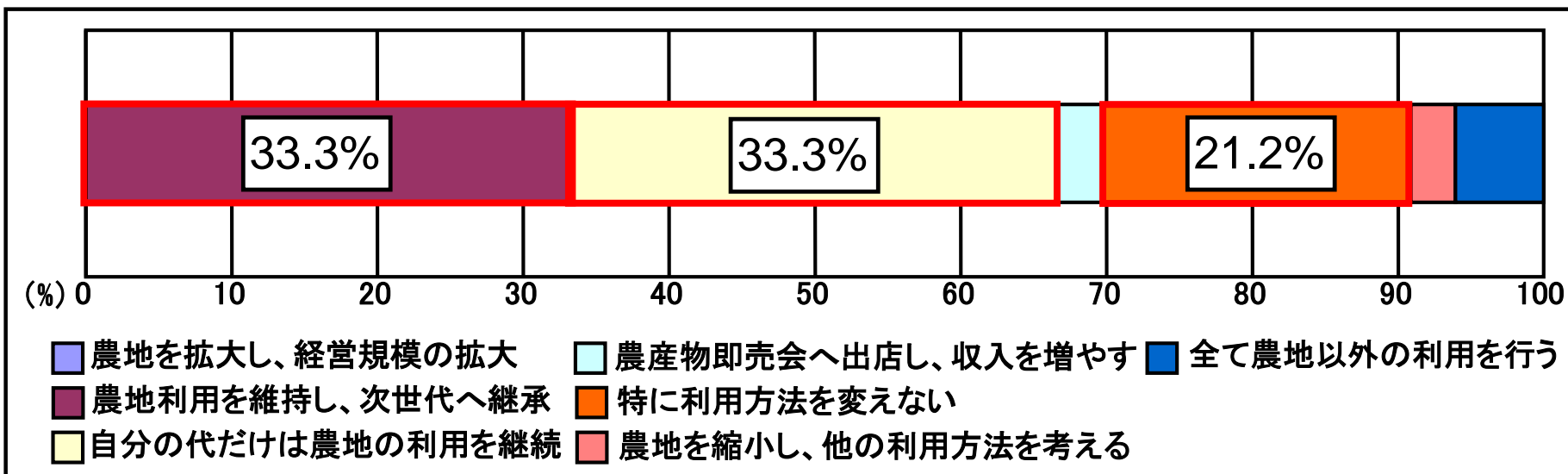
## 周辺地域との付き合いの変化



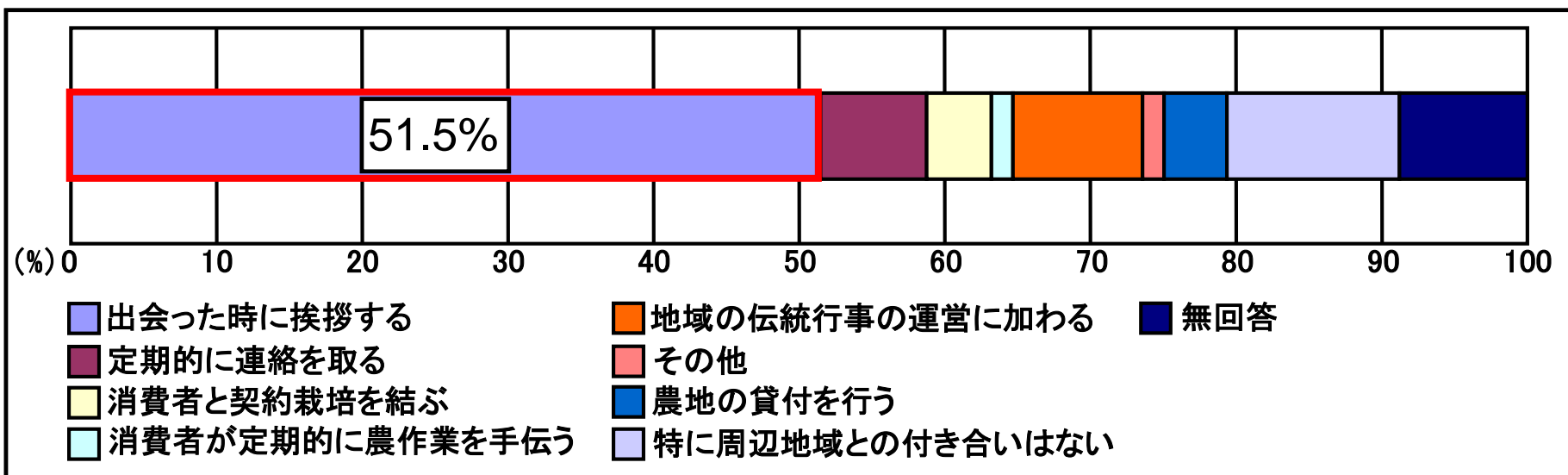


# 担い手(農村側)

## 今後の農地利用形態の意向

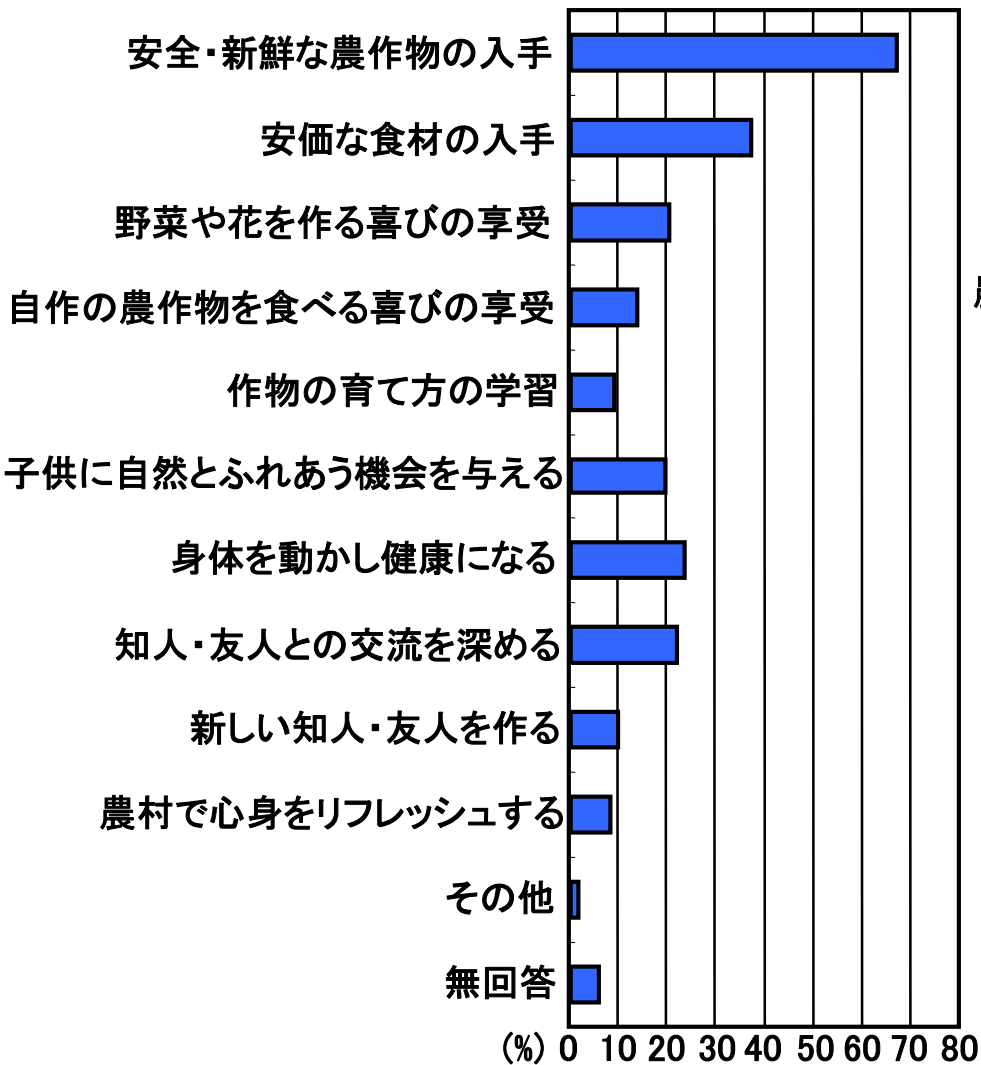


## 周辺地域との付き合いの変化

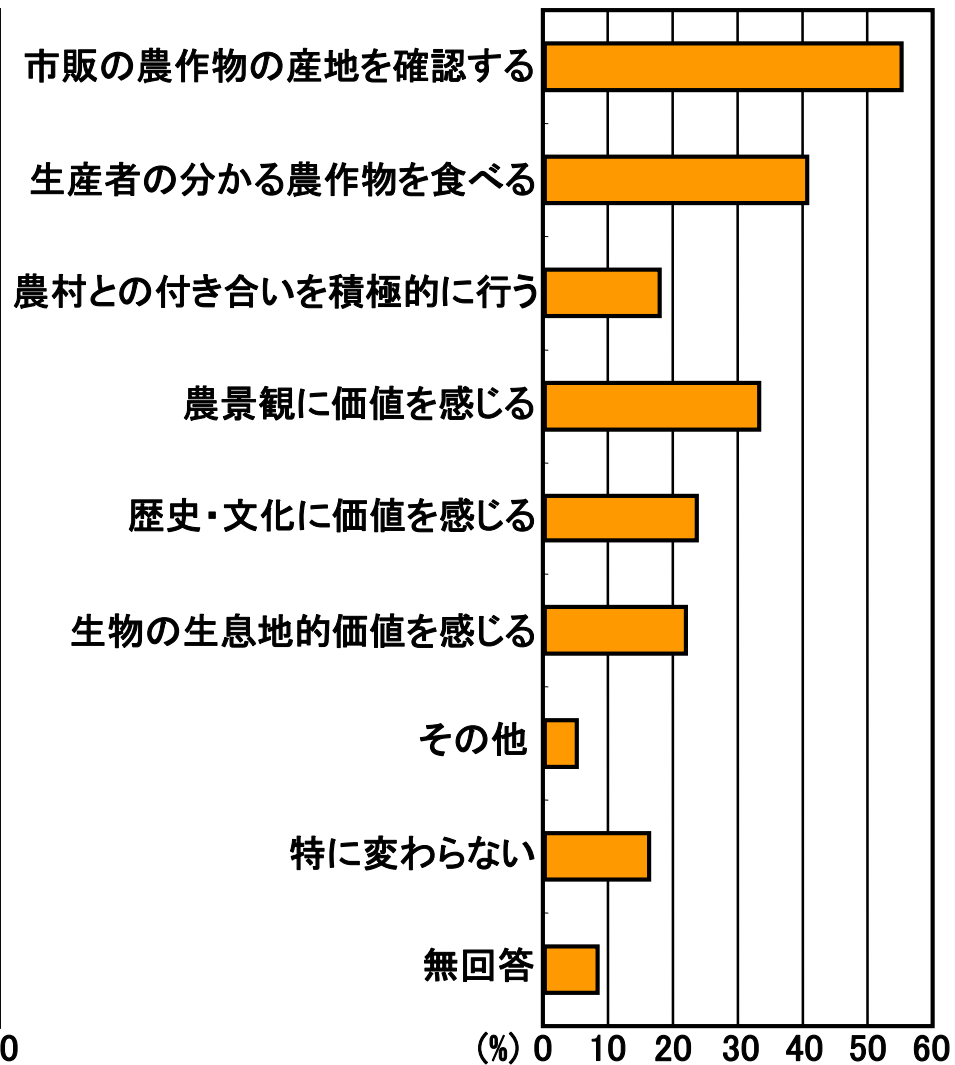


# 参加者(都市側)

## 交流活動への参加理由

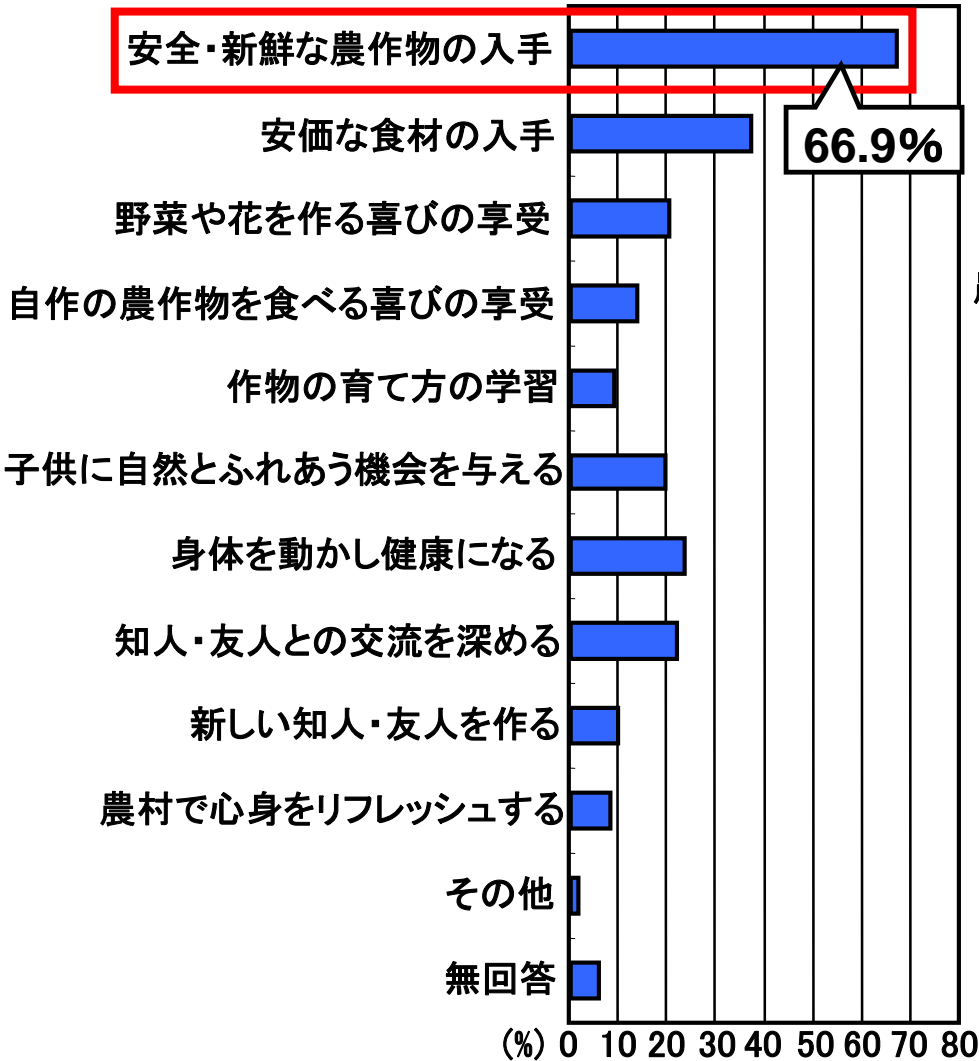


## 農村、農業、農作物に対する意識変化

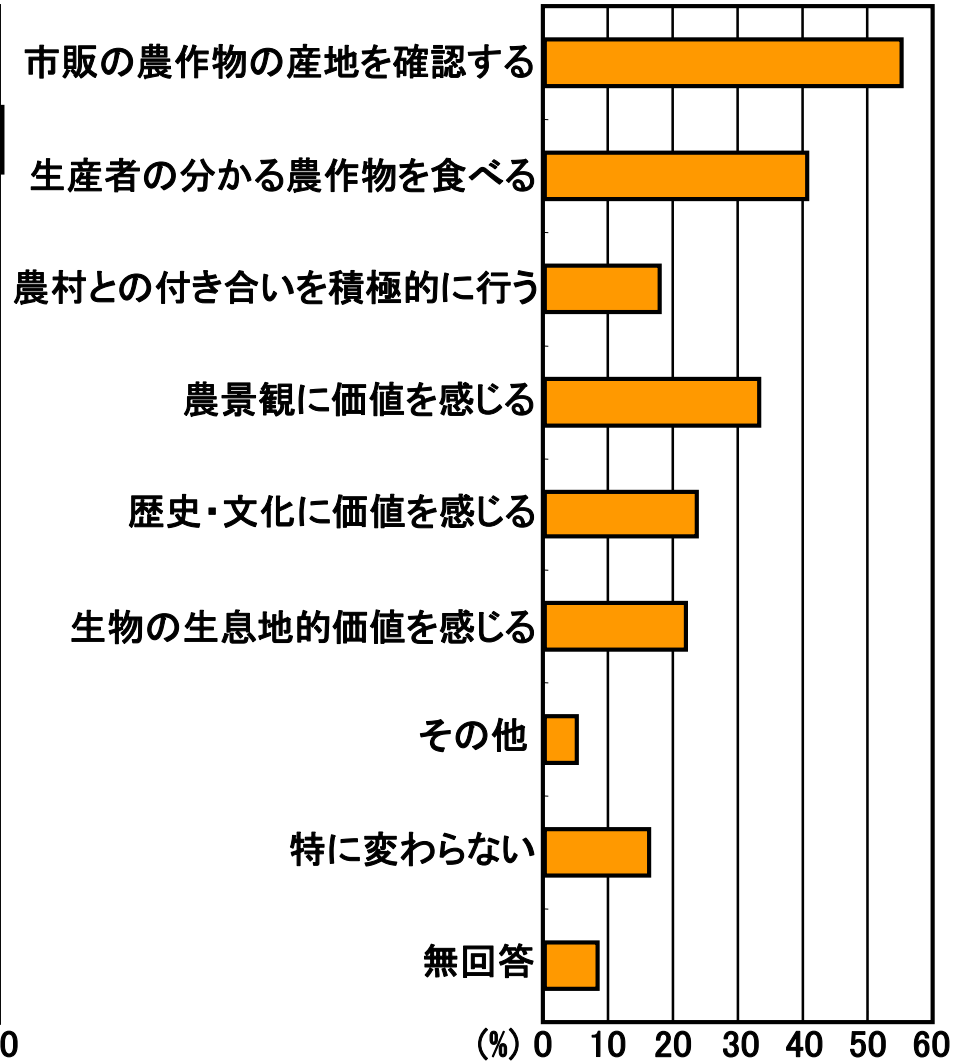


# 参加者(都市側)

## 交流活動への参加理由

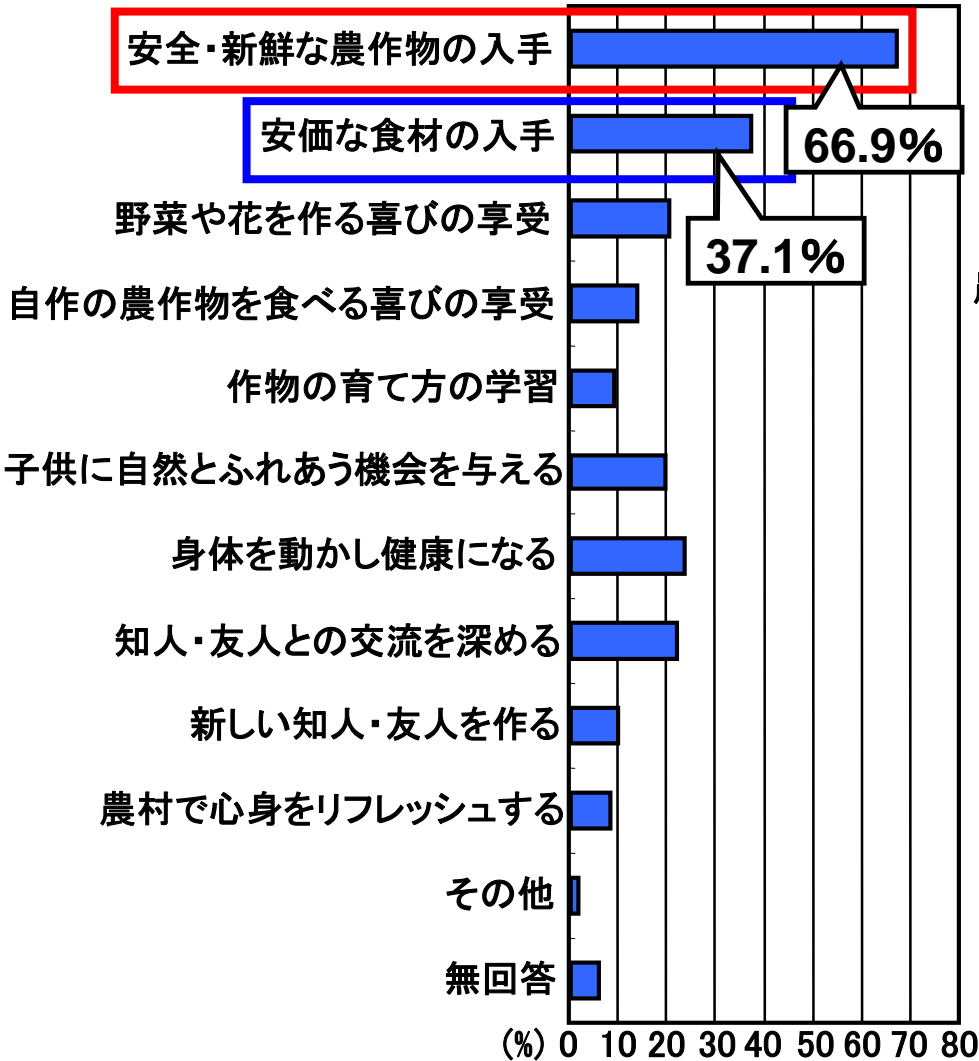


## 農村、農業、農作物に対する意識変化

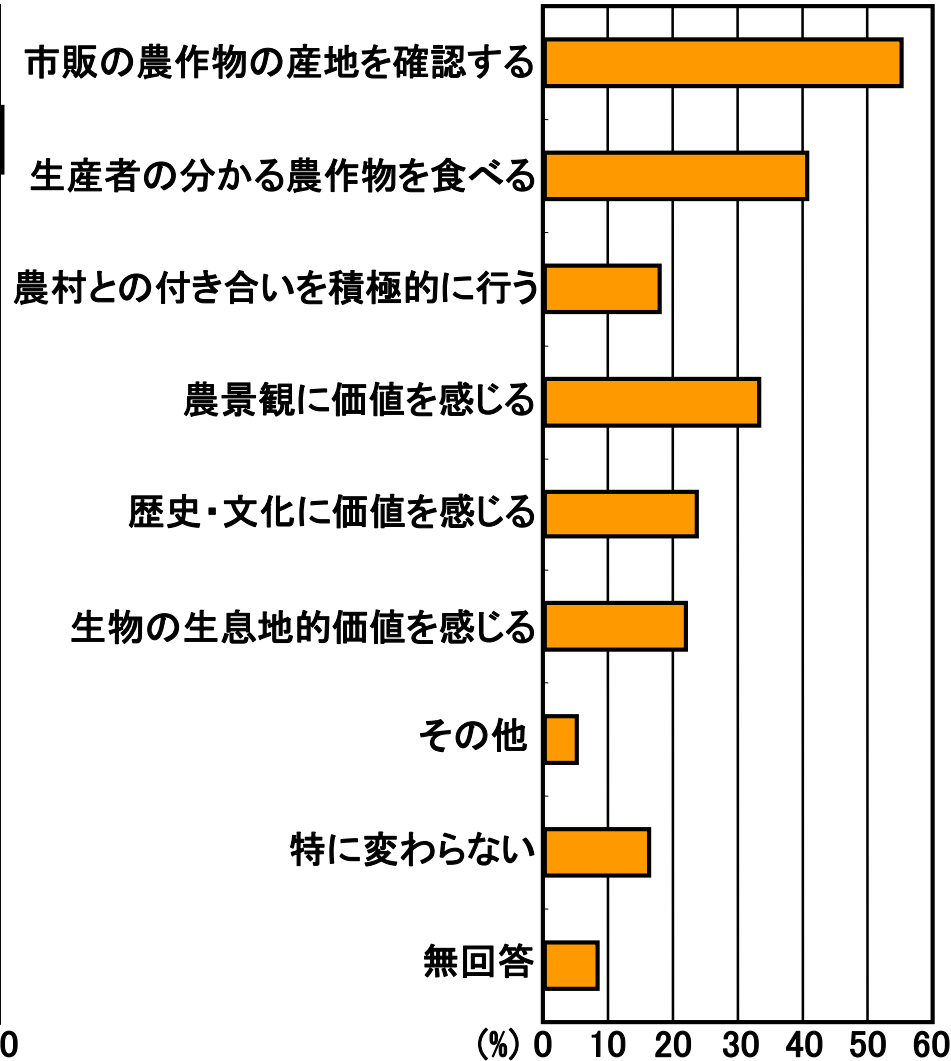


# 参加者(都市側)

## 交流活動への参加理由

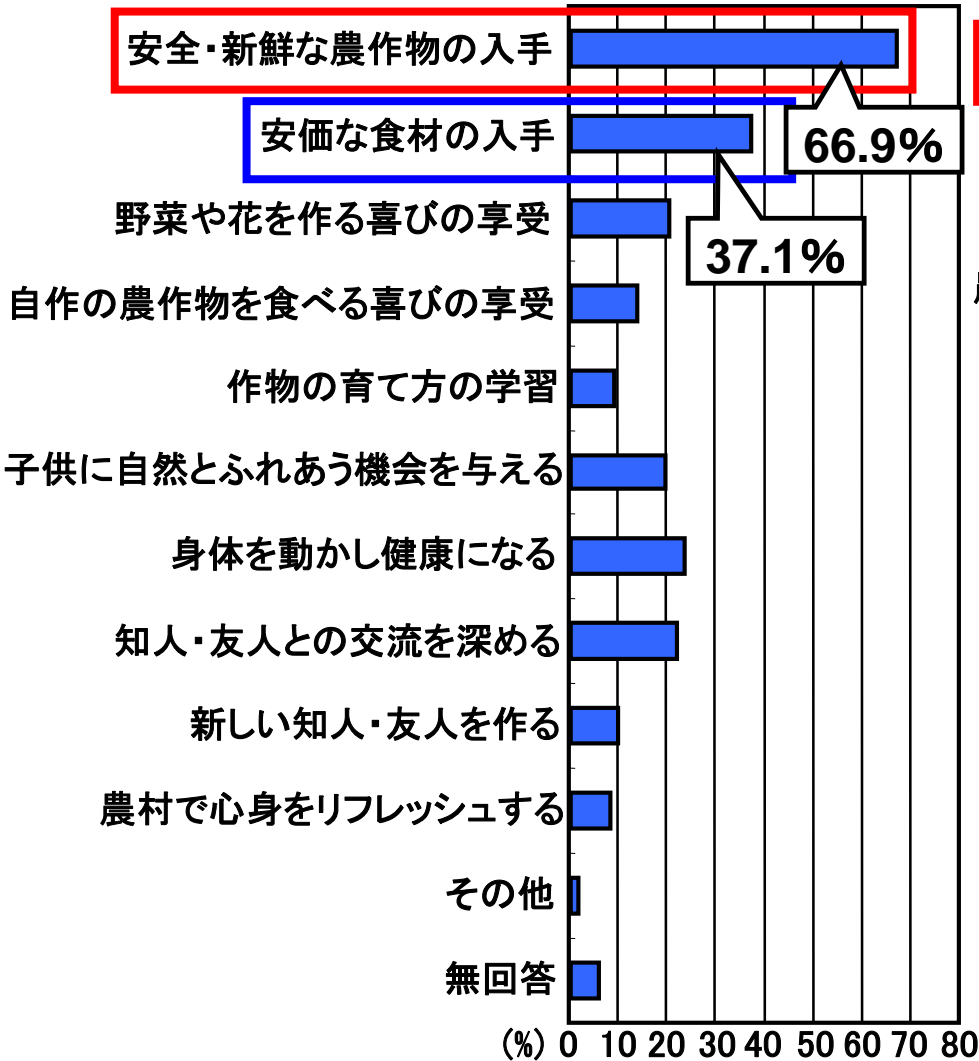


## 農村、農業、農作物に対する意識変化

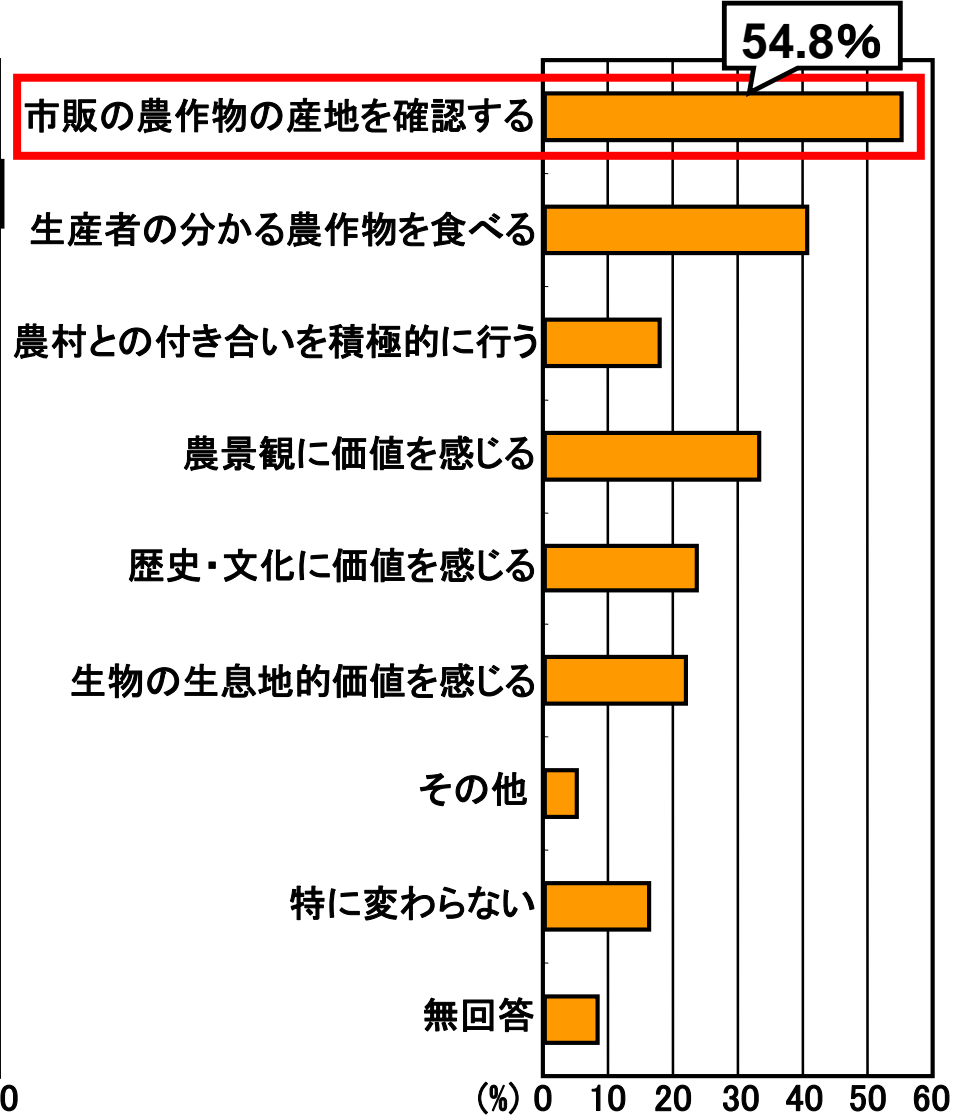


# 参加者(都市側)

## 交流活動への参加理由



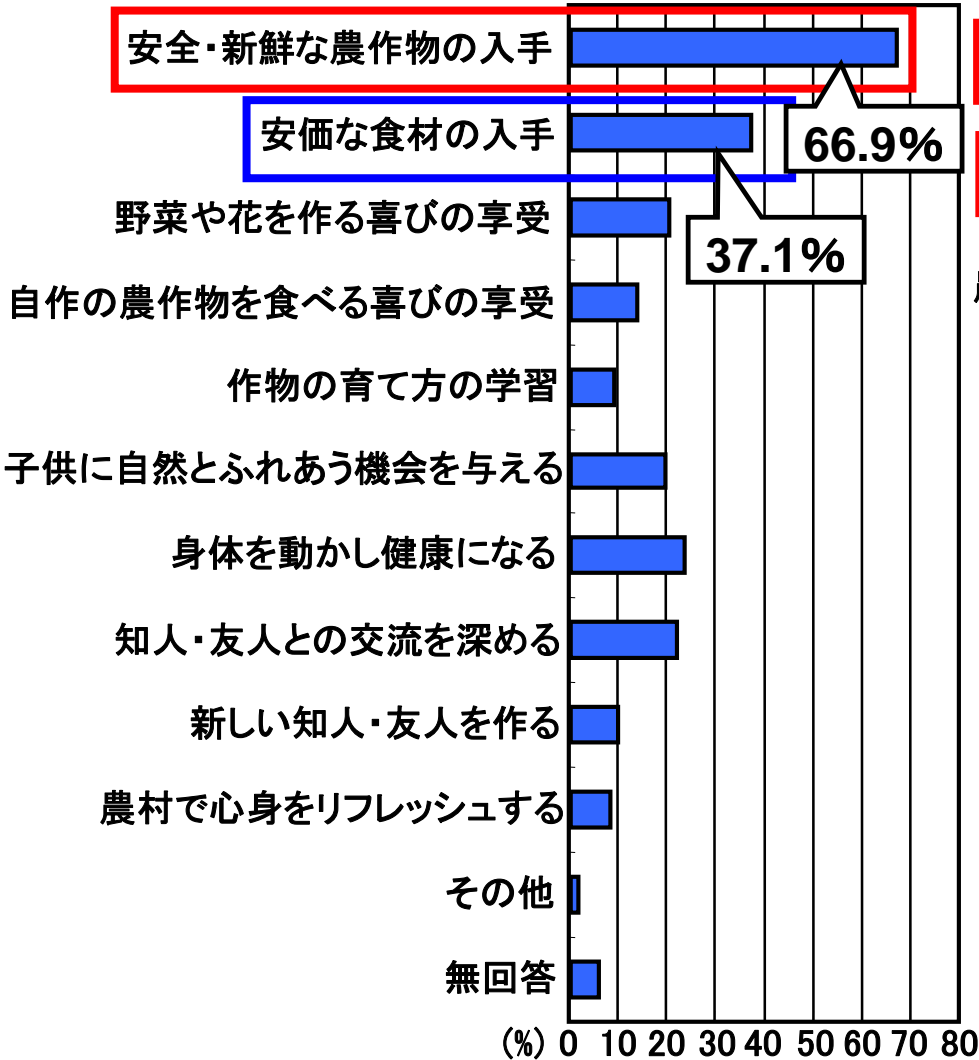
## 農村、農業、農作物に対する意識変化



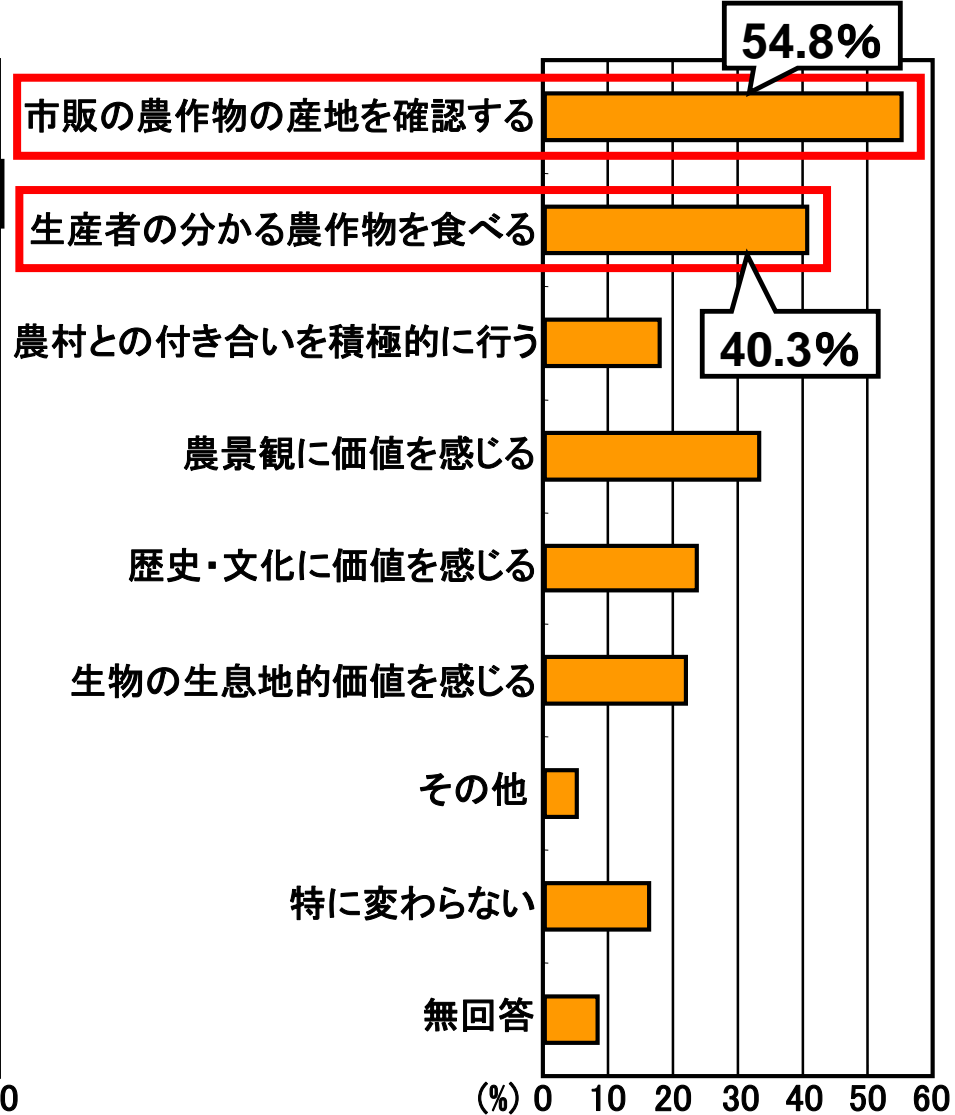


# 参加者(都市側)

## 交流活動への参加理由

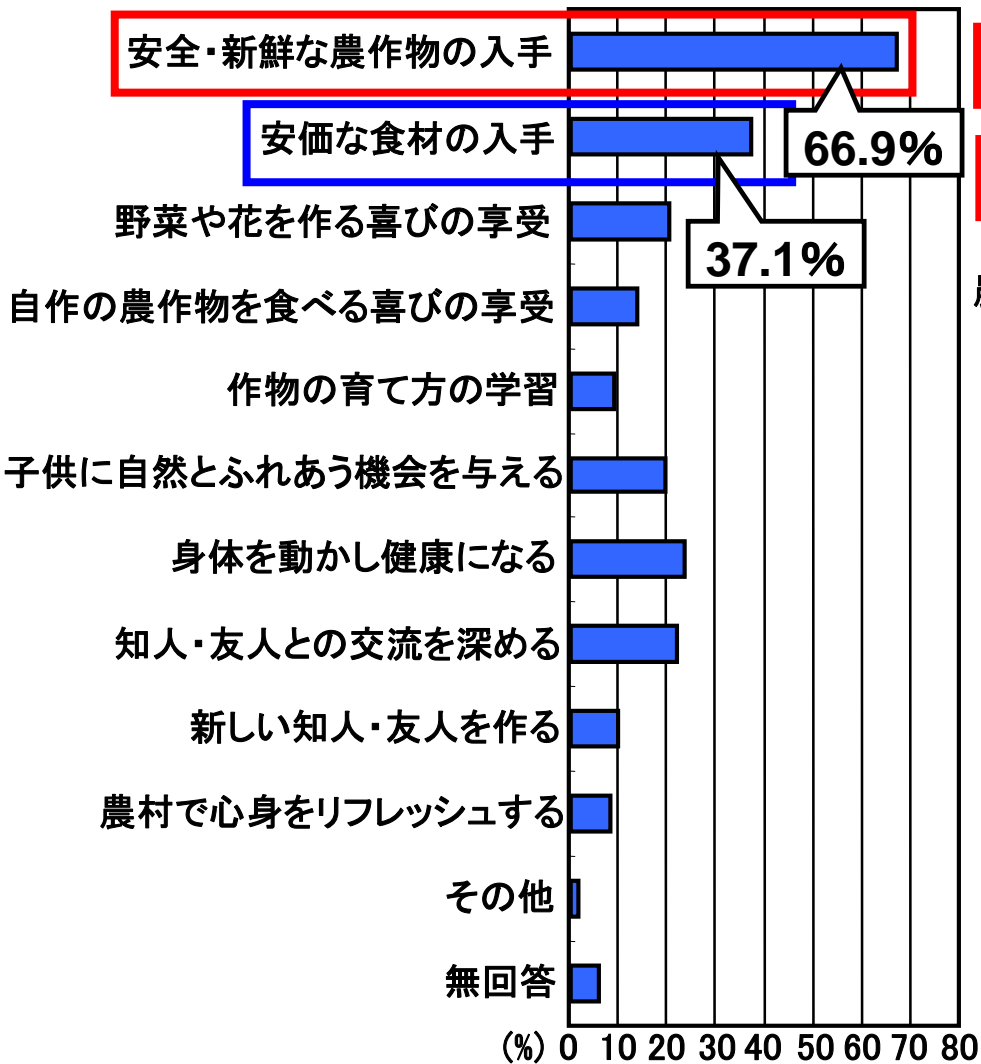


## 農村、農業、農作物に対する意識変化

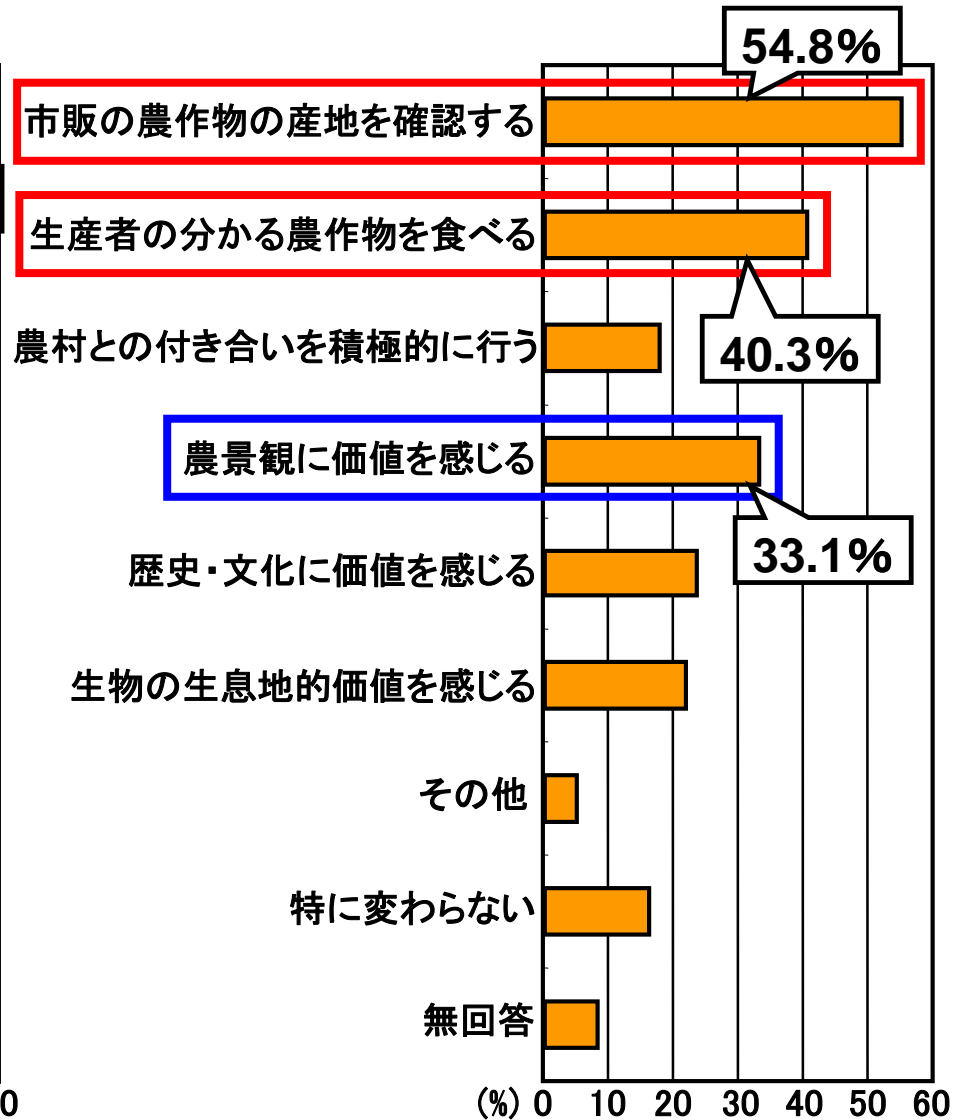


# 参加者(都市側)

## 交流活動への参加理由

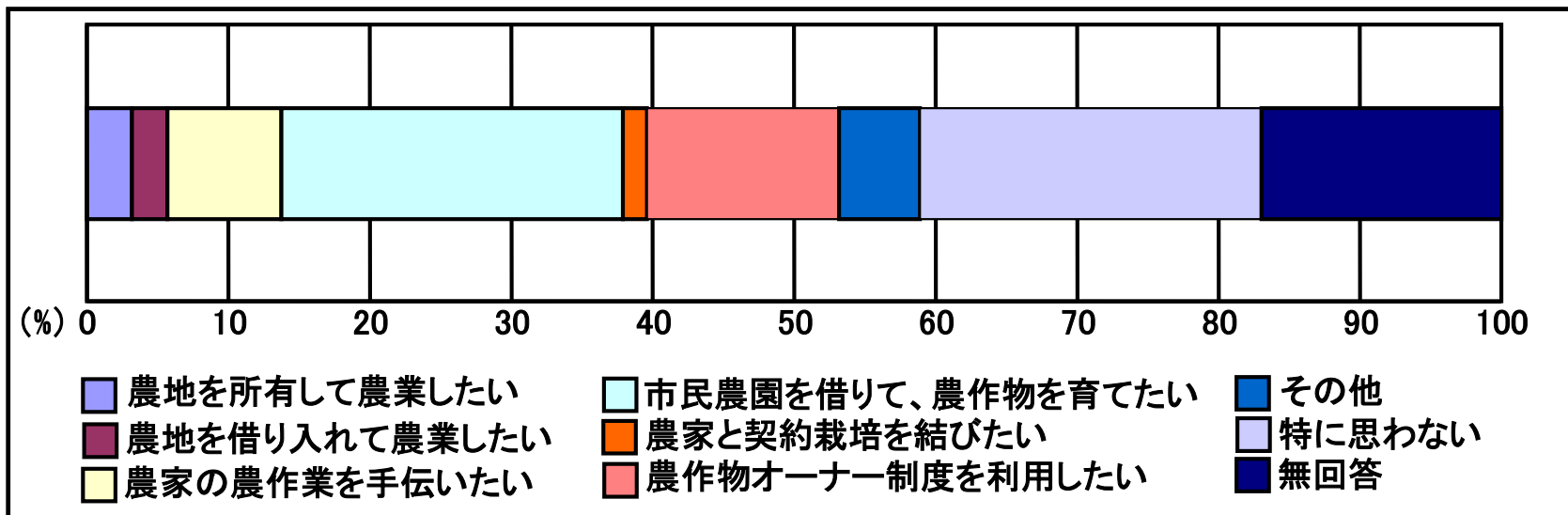


## 農村、農業、農作物に対する意識変化

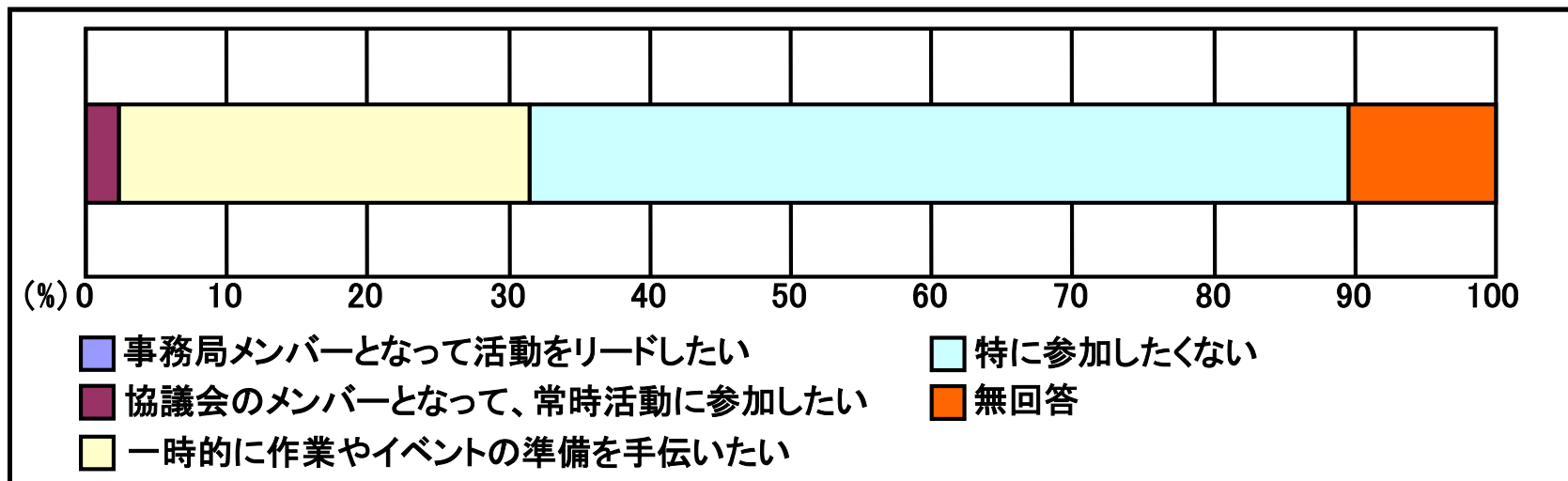


# 参加者(都市側)

## 農業への就業意向の変化

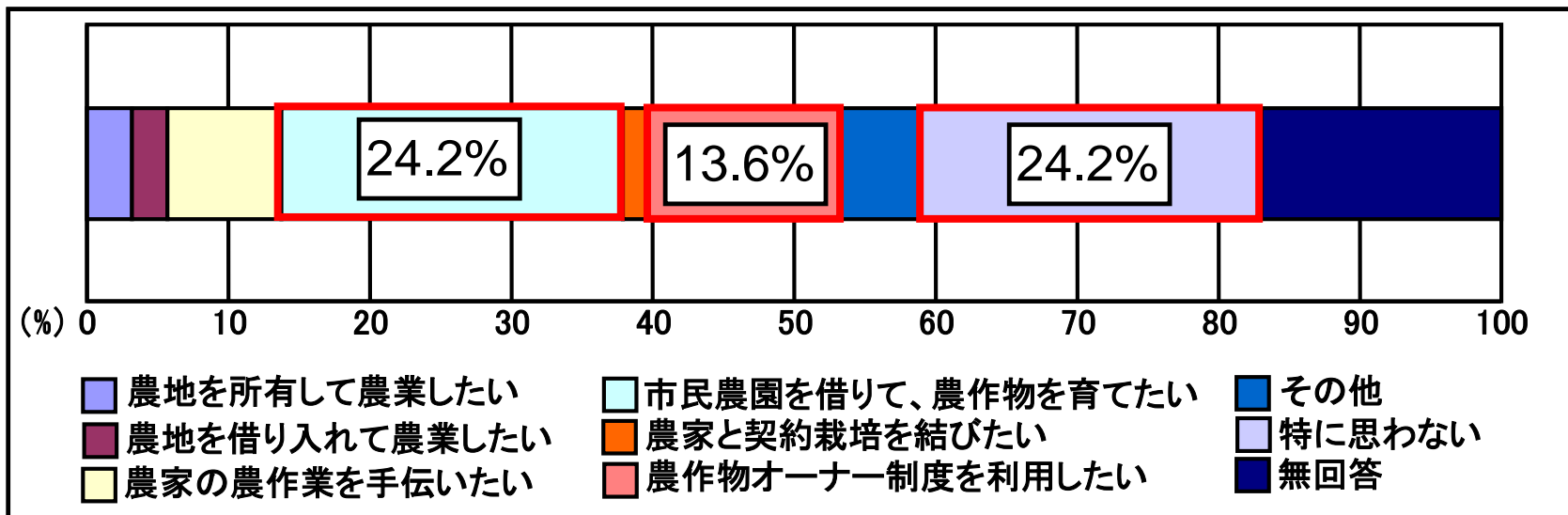


## 協議会活動への参加意向

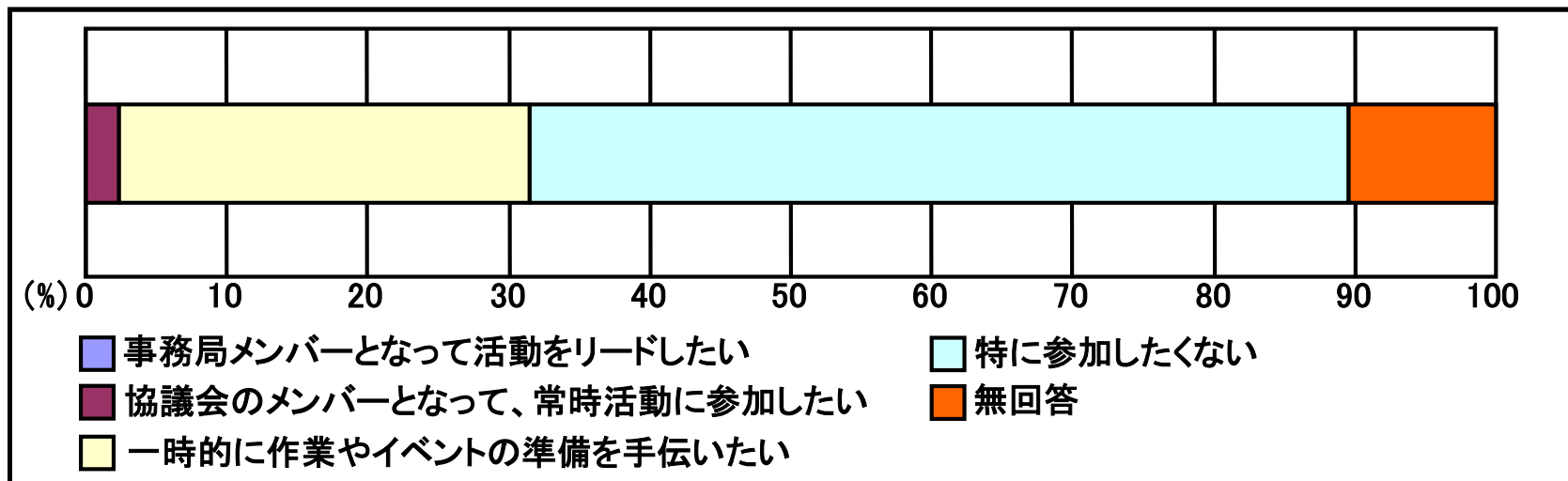


# 参加者(都市側)

## 農業への就業意向の変化

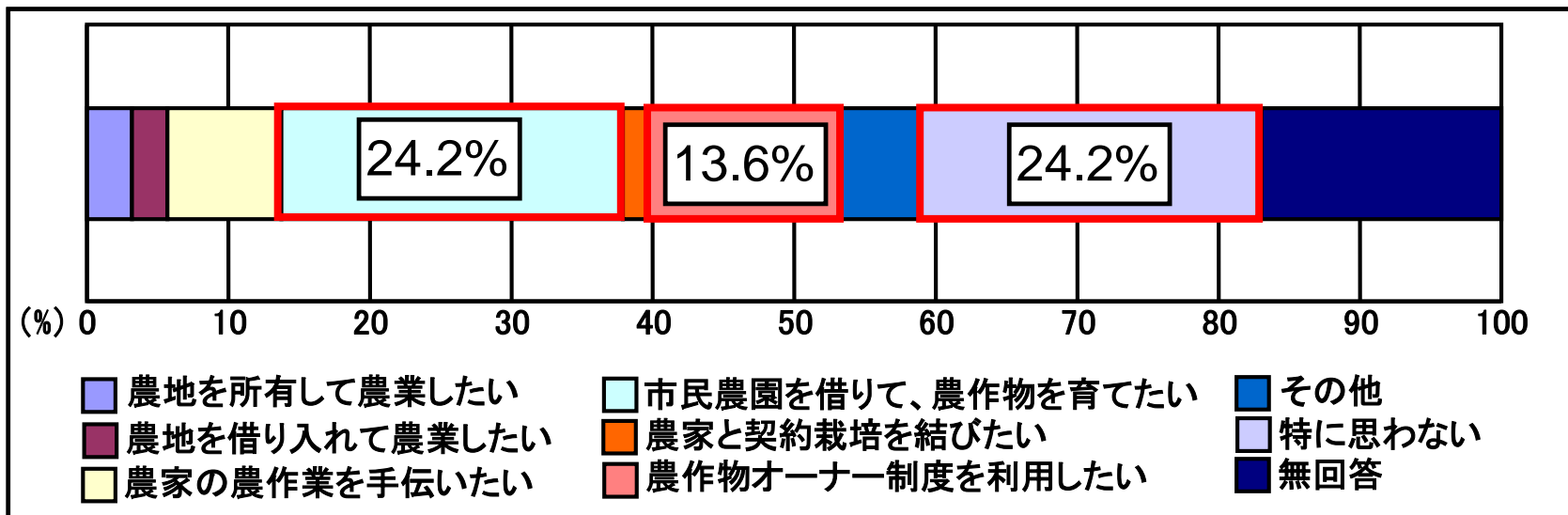


## 協議会活動への参加意向

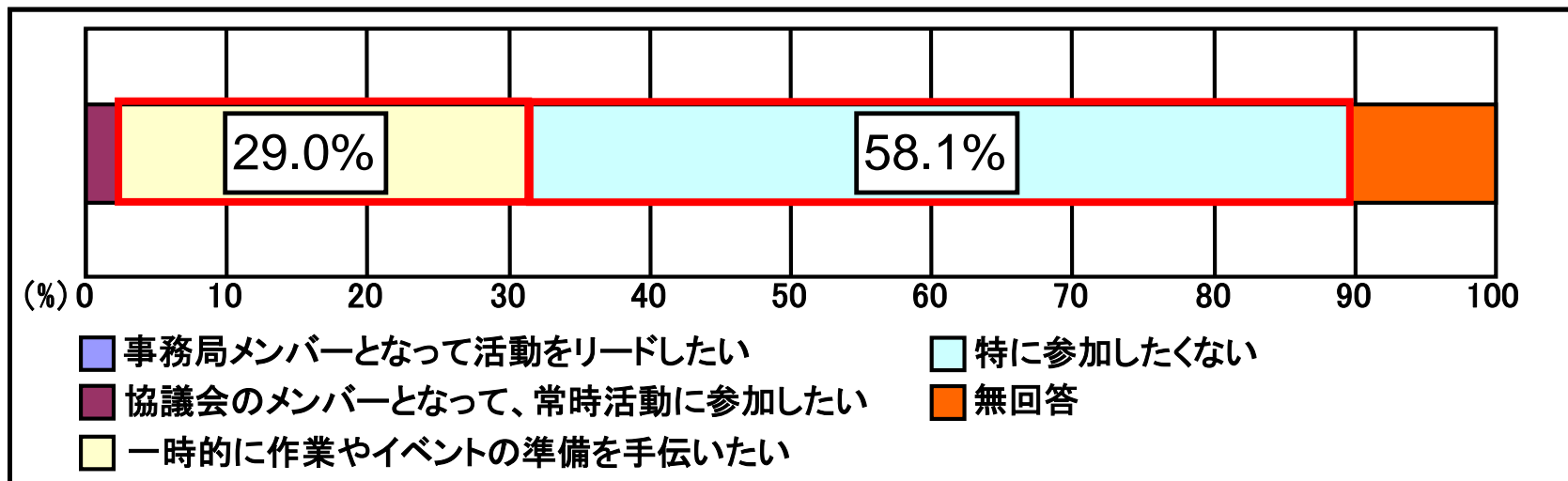


# 参加者(都市側)

## 農業への就業意向の変化



## 協議会活動への参加意向





## 第4章 都市農村交流活動が地域まちづくりに果たした効果

### 農村側に与えた効果

- 農村地域の良好な地域コミュニティの維持、地域の活性化とともに、地域内外の住民同士の親近感の向上に寄与
- 遊休農地の解消が、農空間の環境や景観向上に寄与

### 都市側に与えた効果

- 地域外の都市住民の農空間に触れる機会の増加
  - ・農作物や農村地域がもつ多面的価値の再認識
  - ・農作物オーナー制度や市民農園への利用の促進
  - ・地域まちづくり協議会のイベントの手伝いを希望する都市住民の増加



○農村地域の担い手不足や高齢化が課題となる中で、都市農村交流活動の地域まちづくりにおける重要性は、今後も高まっていくと考えられる